

地域ケアプラザ・福祉保健活動拠点利用団体(福祉保健活動団体)
平成20年度 アンケート調査結果

「誰もが年をとっても、障がいがあっても、ひとりになっても、住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりの実現」を目指す緑区地域福祉保健計画・地域福祉活動計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」(計画期間：平成18年度～22年度)は、計画期間の中間点を折り返し、平成21年度からは見直し作業を行っていく予定です。

そこで緑区では、福祉保健活動団体として区内の地域ケアプラザ・福祉保健活動拠点に登録されている団体の皆様に、それぞれの活動の実際や課題等をお伺いし、今後の区政運営に活用させることを目的としたアンケート調査を実施しました。

＝＜実施概要＞＝

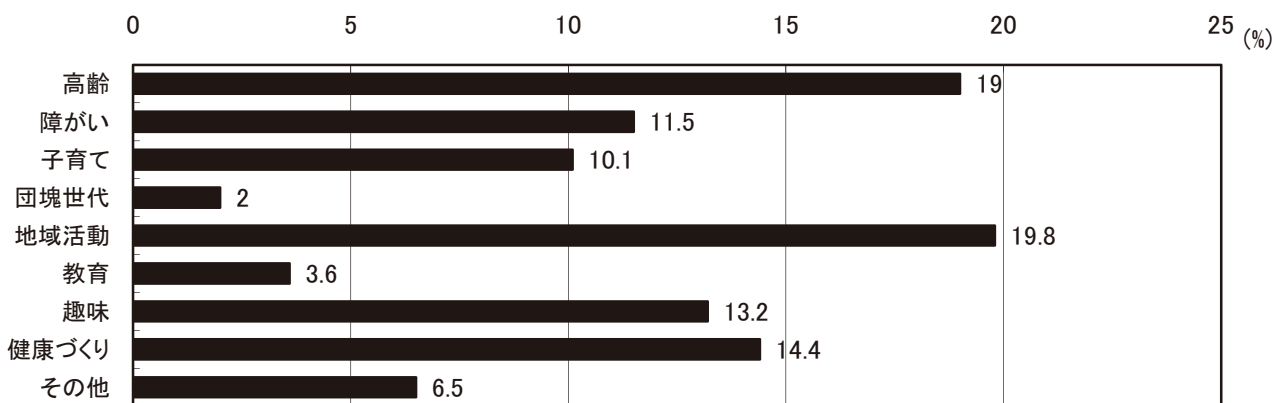
- 1 実施期間 平成20年12月5日(金)～平成21年1月12日(月)
- 2 実施方法 郵送による調査票の送付及び回収
なお、発送については区内の地域ケアプラザ及び福祉保健活動拠点が実施
- 3 対象団体 区内地域ケアプラザ及び福祉保健活動拠点に貸し館登録している福祉保健活動団体
- 4 送付数 382団体
- 5 回答数 211団体

＝＜目次＞＝

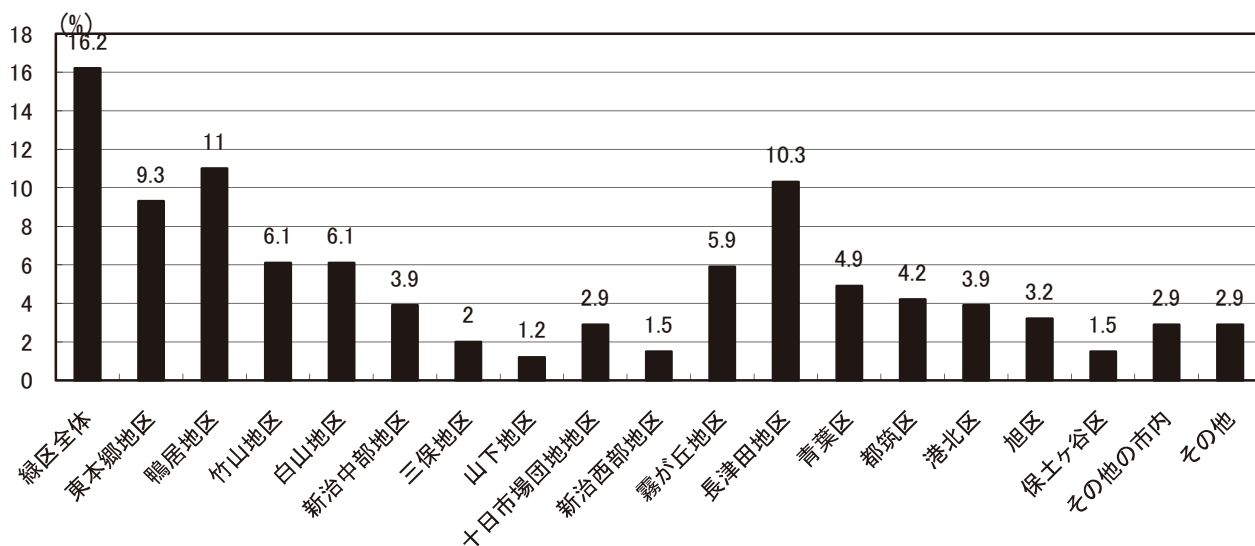
1 活動のテーマ <問2>	p. 111	21 区政情報を知る手段 <問19>	p. 130
2 活動している主な範囲 <問3>	p. 111	22 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知度	
3 活動の回数 <問4>	p. 111	<問20>	p. 130
4 団体の会員数 <問5>	p. 112	23 「みどりのわ・ささえ愛プラン」周知度別に	
5 運営に携わる人数 <問6>	p. 112	みた他の団体・施設との連携・交流の程度	
6 活動の回数別にみた運営に携わる人数の		<問15×問20>	p. 130
程度 <問4×問6>	p. 112	24 「みどりのわ・ささえ愛プラン」周知度別に	
7 会員数を増やすための方策 <問7>	p. 112	みた区政情報を知る手段の程度	
8 主な活動場所 <問8>	p. 113	<問19×問20>	p. 131
9 活動の内容 <問9>	p. 113	25 平成21年度から、緑区では「みどりのわ・	
10 会員との連絡・コミュニケーション方法		ささえ愛プラン」の見直しにはいりません。	
<問10>	p. 114	「みどりのわ・ささえ愛プラン」に対する	
11 団体活動のテーマ別にみた会員との連絡・		ご意見をご自由にお書きください。<問21> ..	p. 132
コミュニケーションの方法 <問2×問10> ..	p. 114	26 福祉について、今後、緑区が優先して行う	
12 活動に参加してよかったと思うこと <問11> ..	p. 114	べき施策は何だと思いますか？具体的に	
13 団体の広報手段 <問12>	p. 115	お書きください。<問22>	p. 138
14 活動における財源 <問13>	p. 115	27 その他、緑区における福祉の取り組みに	
15 団体の経営状況 <問14>	p. 115	ついてのご意見や、今後、行政や地域が	
16 他の団体・施設との連携・交流 <問15> ..	p. 116	取り組むべき新しい施策等のご提案が	
17 知りたい情報 <問16>	p. 116	ありましたら、ご自由にお書きください。	
18 活動における課題・困っていること <問17> ..	p. 116	<問23>	p. 146
19 活動における課題・困っていること <問17>		【参考】	
(自由記載)	p. 117	アンケート調査票	p. 151
20 今後、団体の活動が向かう「あるべき姿(イ			
メージ)はどのようなものですか？<問18> ..	p. 122		

＝＜アンケート調査の主な結果＞

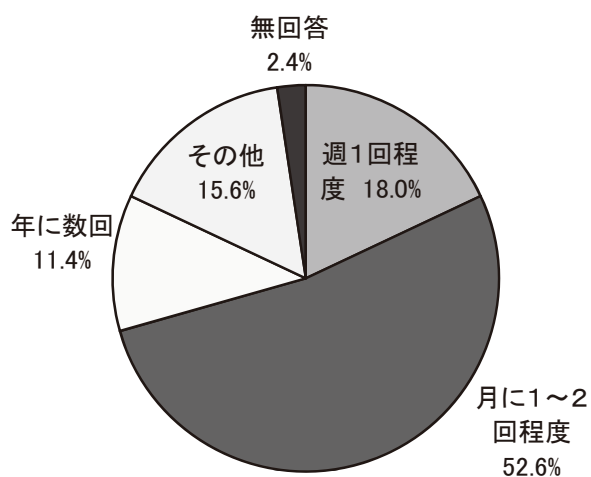
1 活動のテーマ＜問2＞ (回答数=506) 複数回答



2 活動している主な範囲＜問3＞ (回答数=408) 複数回答



3 活動の回数＜問4＞ (回答数=211)

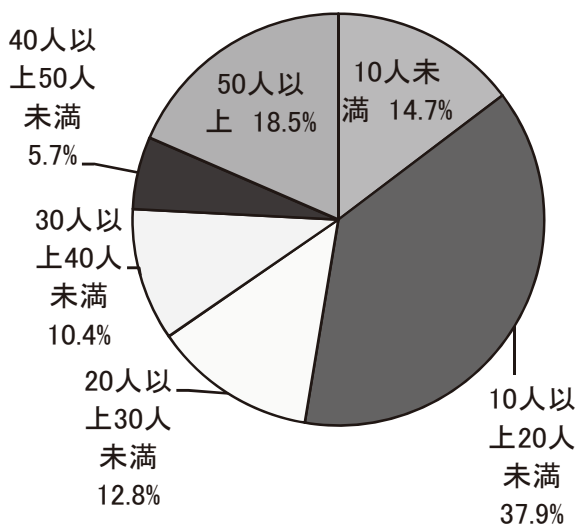


「その他」(自由記載)の主な内容

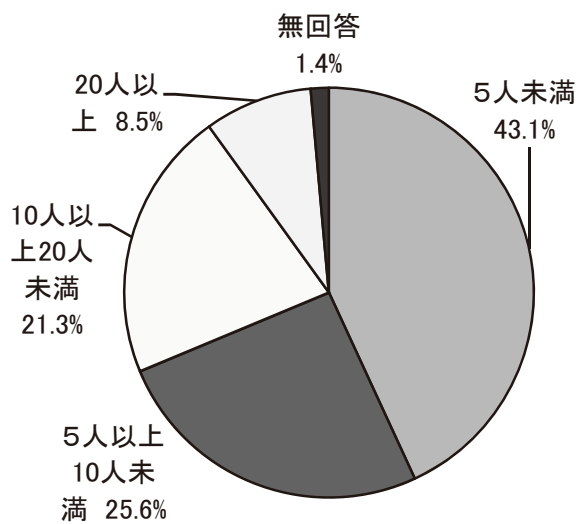
- ・週2~3回 (5件)
- ・週4~5回 (6件)
- ・月3~4回 (10件)
- ・年10回程度 (3件)
- ・毎日 など

約5割の団体が、「月に1~2回程度」と回答しています。

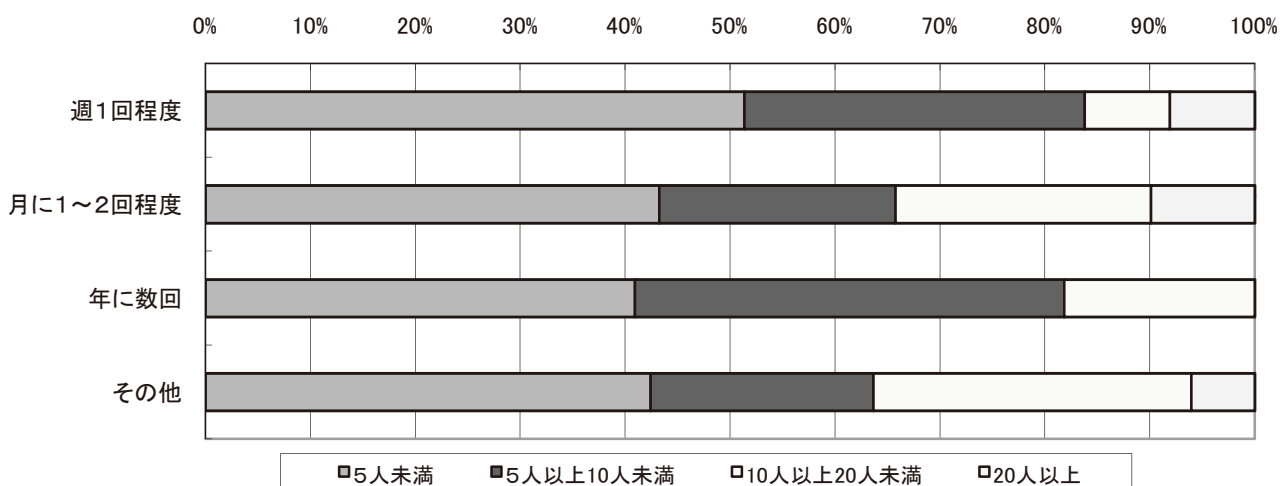
4 団体の会員数 <問5> (回答数=211)



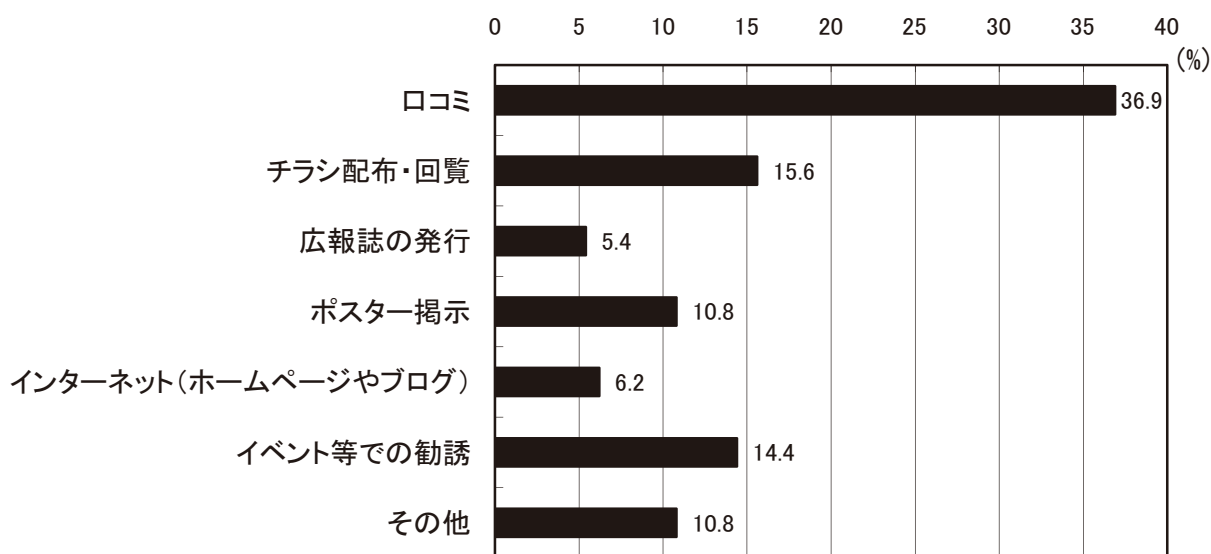
5 運営に携わる人数 <問6> (回答数=211)



6 活動の回数別にみた運営に携わる人数の程度 <問4×問6> (回答数=208)



7 会員数を増やすための方策 <問7> (回答数=390) 複数回答

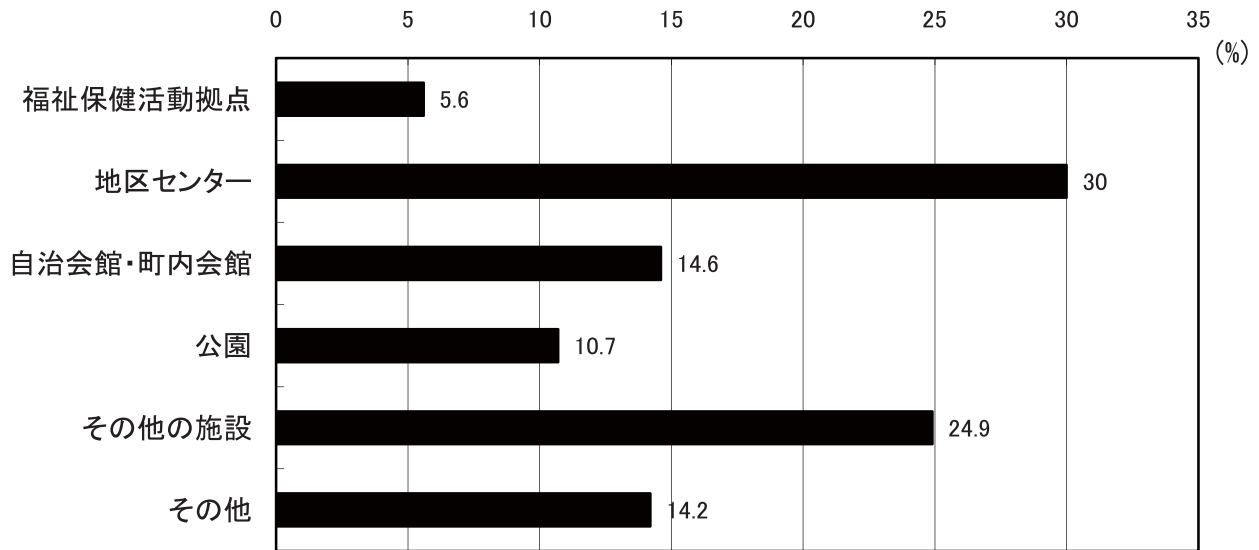


「その他」(自由記載)の主な内容

- ・関係機関、役員等からの紹介、推薦等 (9件)
- ・説明会
- ・パンフレット(2件)
- ・就学時に声掛け
- ・特になし(当面の予定はなし、等) (14件)
- ・必要に応じて募集する 等

8 主な活動場所 <問8>

(回答数=385) 複数回答



「その他の施設」(自由記載)の主な内容

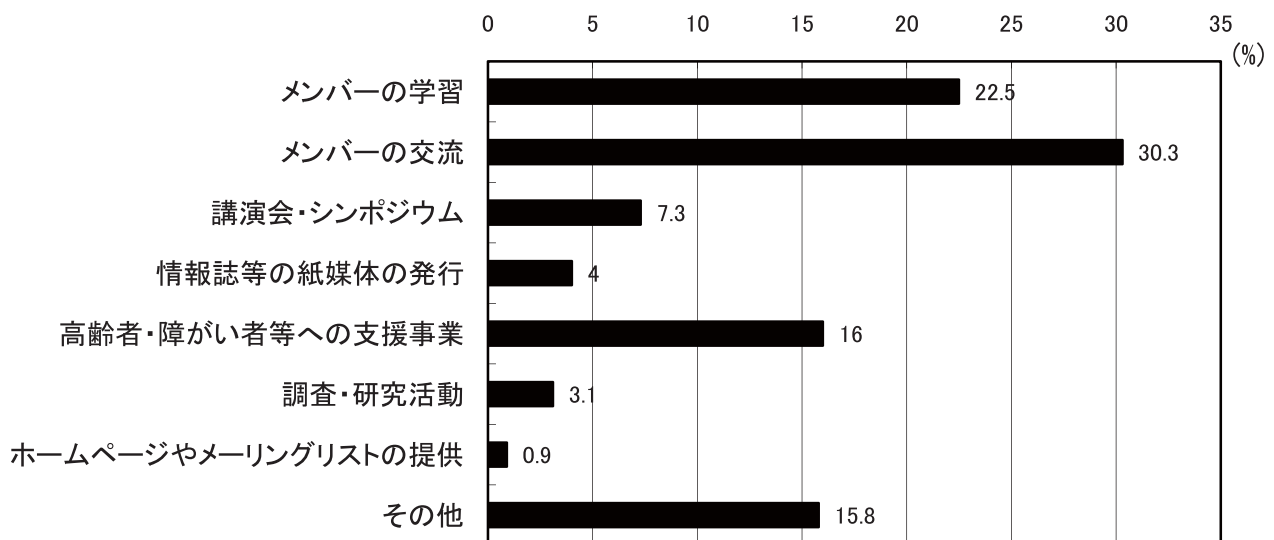
- ・小中学校(9件)
- ・マンション等集会所(9件)
- ・コミュニティハウス(スクール)(8件)
- ・病院・施設(4件)
- ・みどりハイム(4件)
- ・区役所(3件)
- ・ラポール(3件)
- ・グループホーム(2件)
- ・市民活動支援センター(2件)
- ・スポーツセンター(2件)
- ・ハーモニーみどり
- ・地域活動ホーム、生活支援センター
- ・はなまる、緑工房、保育園、幼稚園 等

「その他」(自由記載)の主な内容

- ・自宅、利用者宅、庭等(4件)
- ・自治会内、地域(3件)
- ・寺、神社、散策、テナント、畑
- ・法人事務所、ボウリング場
- ・ホテル、野外(ハイキング、キャンプ)等

9 活動の内容 <問9>

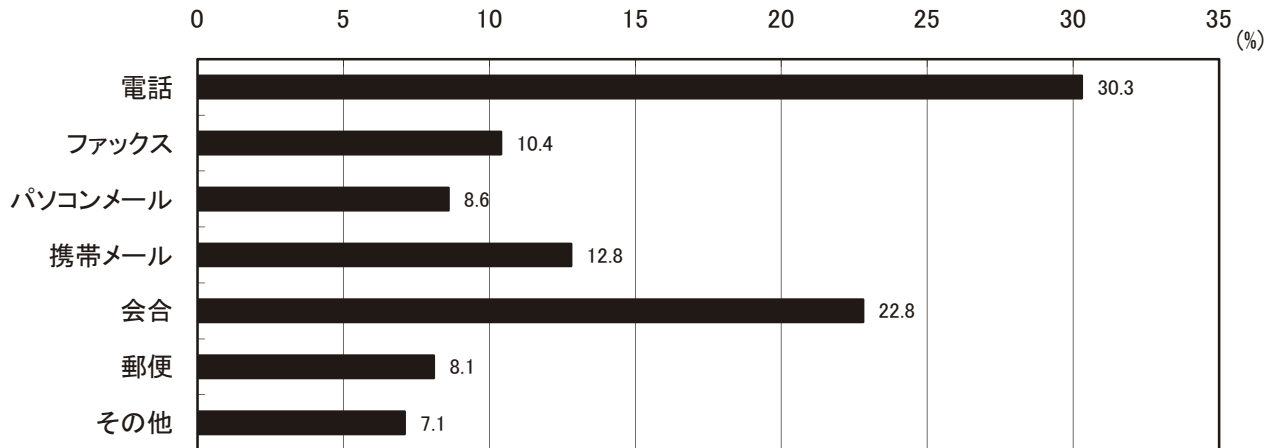
(回答数=449) 複数回答



「その他」(自由記載)の主な内容

- ・健康づくり(体操、太極拳、ウォーキング等)(17件)
- ・食事会、昼食会(6件)
- ・定期訪問(相談、歌、ダンス演奏等)(5件)
- ・子育て支援(4件)
- ・リハビリ教室(4件)
- ・外国人との交流等(3件)
- ・情報交換(3件)
- ・イベント開催、商店街との連携、相談事業、地域活動への参加
- ・男性料理、妊婦料理、食育、音楽練習、絵画制作、技術の向上
- ・詩吟、造形、リトミック、ダンス、パン教室、フラダンス、余暇支援
- ・防犯・防災・清掃・情報伝達、居場所提供、野外活動 等

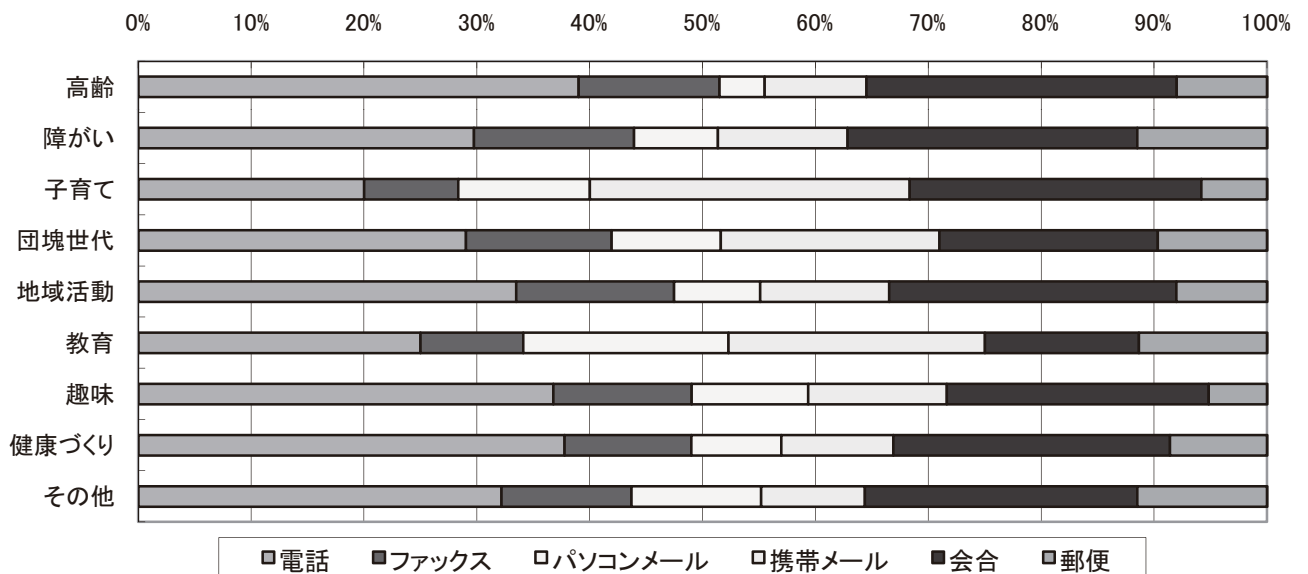
10 会員との連絡・コミュニケーション方法 <問10> (回答数=509) 複数回答



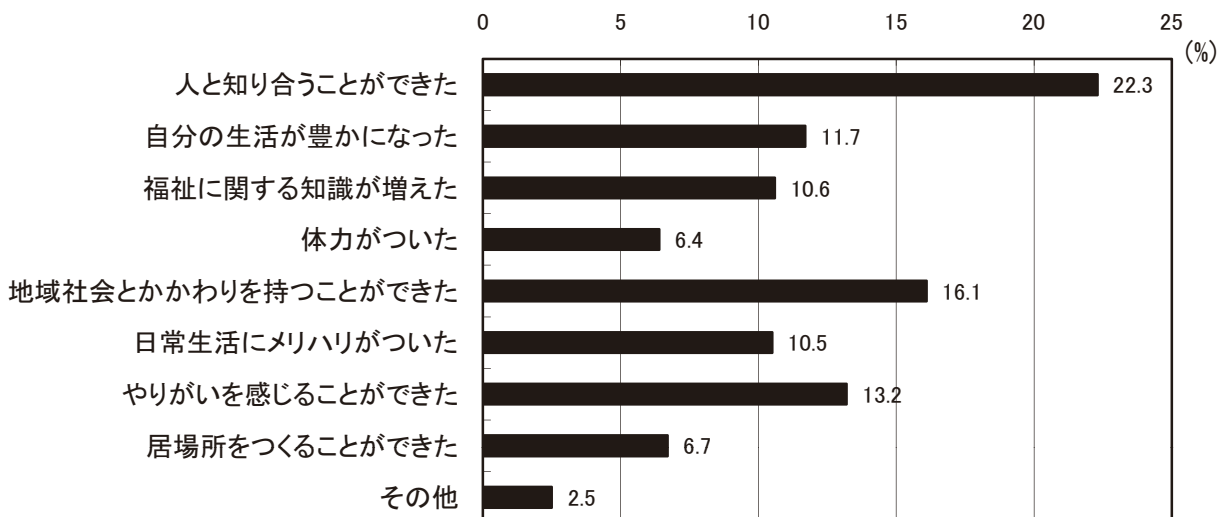
「その他」(自由記載)の主な内容

- ・会報、資料配布等(8件)
- ・回覧(7件)
- ・直接訪問(5件)
- ・ポスター、日常活動、学校間メール、mixi内のコミュニティ、メルマガ 等

11 団体活動のテーマ別にみた会員との連絡・コミュニケーションの方法 <問2×問10> (回答数=1172)



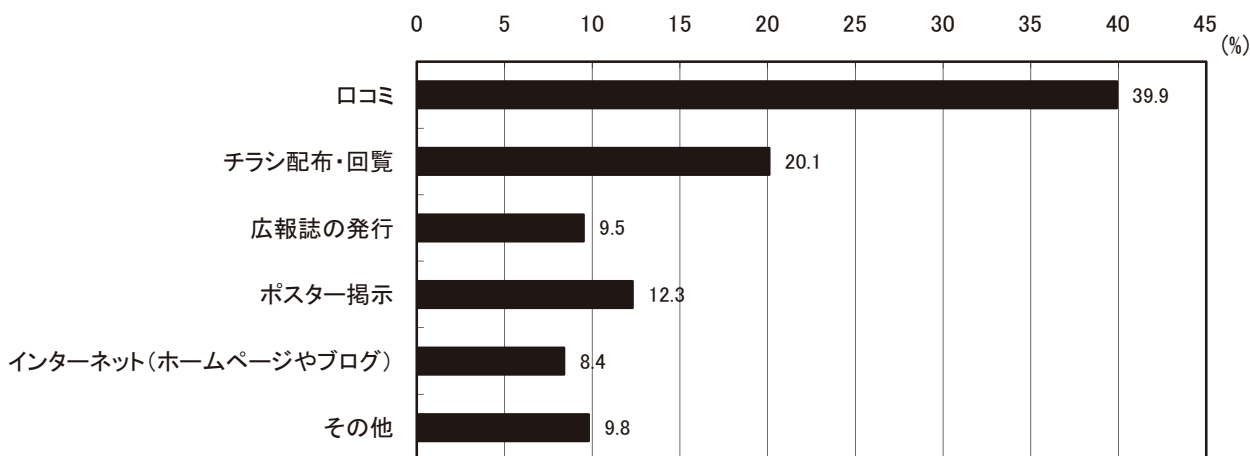
12 活動に参加してよかったと思うこと <問11> (回答数=794) 複数回答



「その他」(自由記載)の主な内容

- ・育児の悩みなど1人で抱え込まずにすんだ。子供の友達ができた。
- ・子育てで困った時の相談相手があった。子ども同士が楽しそうに遊ぶ、親も楽しい。
- ・行政機関や他団体との交流を経て視野が広がった。
- ・社会的見聞が増加した。
- ・食事も美味しくなった。他団体の活動内容を知ることができる。
- ・誰にでも挨拶、言葉かけが自然に出来るようになった。
- ・地域のコミュニケーションが円滑になった。
- ・場所の提供をされたことで一歩進むことができた。
- ・ボランティアをやっているつもりが逆に教わる事が多く感謝しています。
- ・やりがいはあるが、個人個人の温度差があり、組織のむずかしさも感じる。

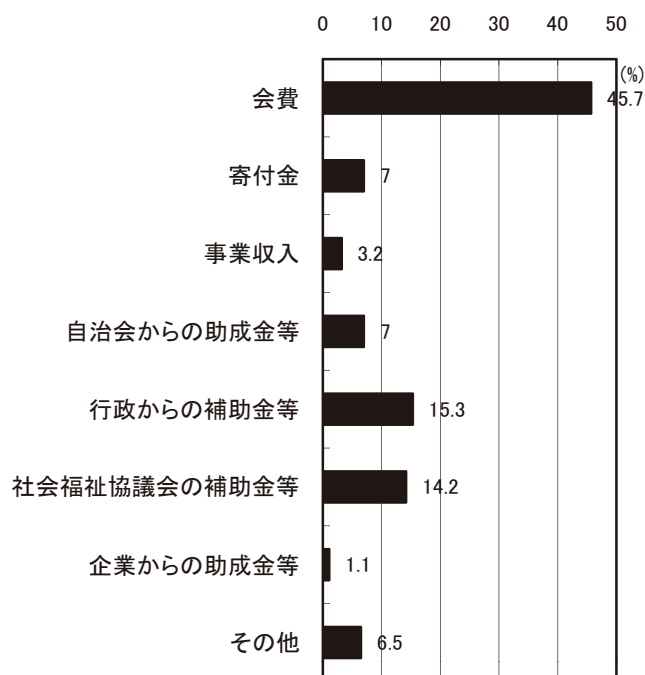
13 団体の広報手段 <問12> (回答数=358) 複数回答



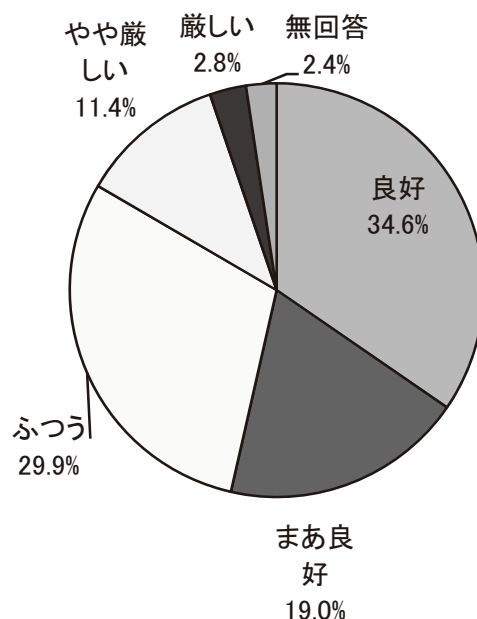
「その他」(自由記載)の主な内容

- ・() 件 6 (等 ト ン ベ イ 、 事 催 の り 域 つ 地 味 ・ 社) 件 5 (等 ト ッ レ フ ン パ ・ リ が な つ の と)
- ・広報手段がない、特になし等(10件)

14 活動における財源 <問13> (回答数=372) 複数回答

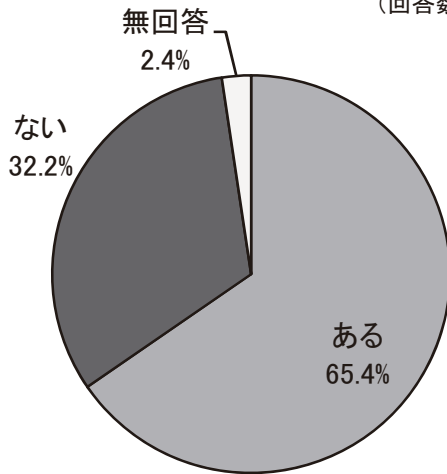


15 団体の経営状況 <問14> (回答数=211)



16 他の団体・施設との連携・交流 <問15>

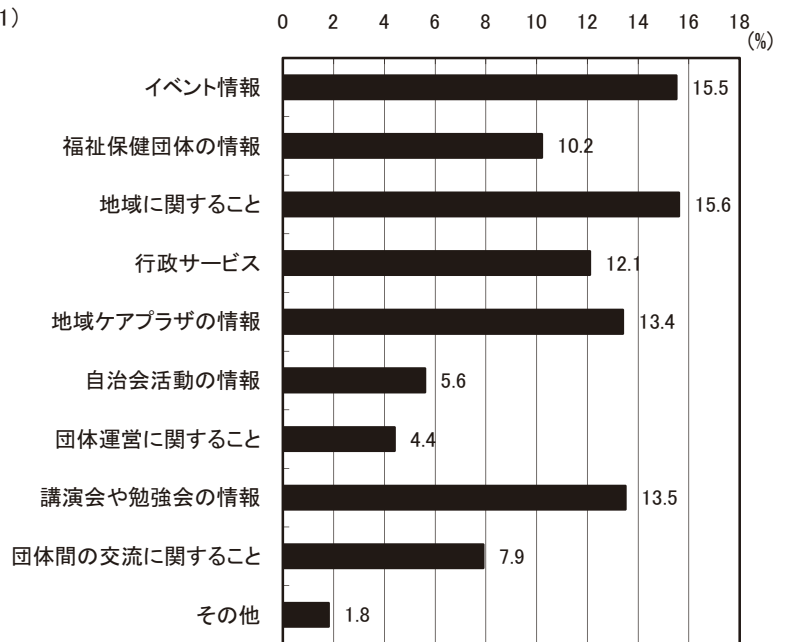
(回答数=211)



約3割の団体が、連携・交流が「ない」と回答しています。

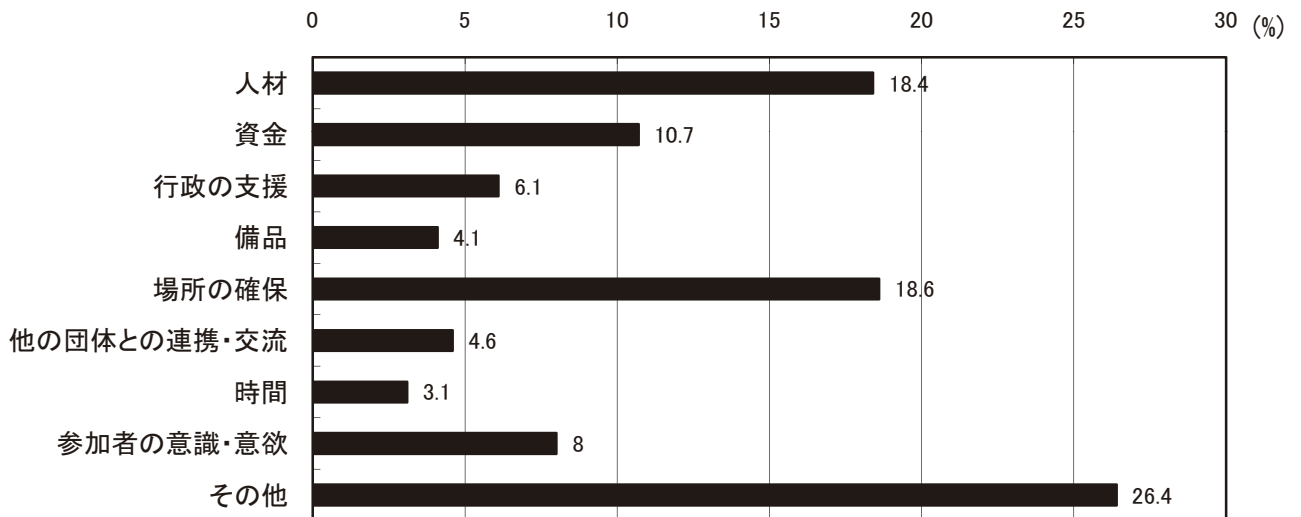
17 知りたい情報 <問16>

(回答数=569) 複数回答



18 活動における課題・困っていること <問17>

(回答数=413) 複数回答



「その他」(自由記載)の主な内容 (詳細は次項参照)

- ・「場所」に関すること(29件)
- ・「資金」に関すること(8件)
- ・「運営」に関すること(30件)
- ・「運営に携わる人材」に関すること(8件)
- ・「会員・メンバーの高齢化」に関すること(10件)
- ・「設備・備品」に関すること(5件)
- ・「送迎」に関すること(3件)
- ・「情報」に関すること(2件) など

19 活動における課題や困っていること <問17> (自由記載)

[場所]

<p>地区センターでの会議を行う場合、21 時で終わってしまうので、会議ができずホテルを利用しています。月に1回というレベルでよいので 22 時までの日を作ってほしい。</p>
<p>現在は 13 名程度の少人数で、和気あいあいとやっていますが、当会は 20 名を限度として考えております。今後、会員が増えますと、場所の確保や、現在でも利用する月日の2ヶ月に申し込みをしますが、私自身の都合がつかない時の、第三者にお願いするのも困難です。申し込み当日(2ヶ月前)、電話なり FAX で申し込みをし、当日の都合のいい時に正式に申し込みできるよう、お願いできれば幸いと存じます。</p>
<p>自治会館がとれないときに、鴨居地域ケアプラザを使用している。GP ホールもよいが係員が9時に帰ってしまうので大変。</p>
<p>ギターを各自が持っていくため、車で運ばざるを得ない。駐車できる場所がない。</p>
<p>自分達の会は向こう数年後に地域に居場所を持ちたいと望んでいるところです。自分達の居場所、障がい者が誰でも来られる所です。</p>
<p>活動を定期的に行いたいのだが、場所の確保が難しい。予約なしで活動中の保育を保育者に頼んでいるが、日によって子どもの数が違うため、預かる子どもが多い時は活動自体が落ち着いてできない時もある。</p>
<p>倉庫がほしい。イベント等の関係機材を置く場所がなく困っている。</p>
<p>備品の置き場所</p>
<p>お料理など、特別なことをするときには、調理室等が必要なため、場所を確保することが難しい。</p>
<p>訓練活動をする場所。特にキャンプ活動の出来る場所の不足</p>
<p>自治会館がない。</p>
<p>場所の確保に困っています。社協の活動拠点です。拠点が定まり、常時誰かが滞在し、対応する、そうするとアルバイト料などの人件費も必要になりますが、そうなりたいと思っています。</p>
<p>ハーモニカ合奏のため、音で他の迷惑にならないような練習場所の確保。</p>
<p>活動で使う備品等を個人が順番に持ち回っているが、保管させてもらえる場所が主な活動場所にあるとうれしいです。</p>
<p>活動する場所をとること。申し込み多数のため、落選し、また他の所を探す。決まった場所で楽しく活動したいと思いますがどのサークルも同じことですし。欲は言われません。</p>
<p>私達は太極拳を行っており、場所の確保が困難である。</p>
<p>場所の確保が大変です。</p>
<p>希望する日時に場所を確実に確保しにくい。</p>
<p>東本郷地域ケアプラザの一室を東本郷ボランティアセンターとしてお借りして感謝しています。ただ要望といたしまして①もう少し広いスペースが欲しい。(ボランティア団体が拠点として活動できるスペース)②組織名が掲げられるようにして欲しい。(地域の方が訪れてこられても場所がわからない。)</p>
<p>以前は白山地区センターを利用していましたが、会場の予約が困難で、鴨居地域ケアプラザ発足と同時に多目的ホールを使用させていただいております。現状では多目的ホールかGPホールのいずれかを予約でき助かっています。欲を言えば、部屋が狭く、会員数を増やすのは困難です。</p>
<p>会員(メンバー)が旭区鶴ヶ峰の先から通っている人達が半数以上いるのですが、駐車場利用が出来ないため、バス等乗り換えてきています。寒い季節等活動を減していますが、もう少し駐車場の開放をしていただけたら大変助かります。</p>
<p>定例で開いている広場なので、年間を通して活動場所があちこち移動しないよう安定して確保したい。</p>
<p>月3回を予定していますが、地区センターの場所取りが厳しい。なかなか希望日が取れない。1回2回という制限がありますので。</p>
<p>体育館での体操が中心になっているのですが、予約が取れない月があることや、備品を置かせてくれる場所が</p>

ない。体育館にあるものは使用 OK とのことですが、汚すぎて使用できないものが多い。
長津田地区に公共の場所が少なく、なかなか空いていません。緑区民ホールに練習場所(フラ等)できることを望みます。
地域ケアプラザの予約が、団体により何ヶ月前に入れられるか違うこと。2ヶ月前と3ヶ月前の団体があるので困っている。
活動上、現在、困っていることはあまりありません。場所も地域ケアプラザさんとの共同主催などにより提供されております。
高齢者が多いので、皆集まるのに都合のよい近さなので今後もケアプラザもしくは地区センターなどを借りられたら幸いです。皆も感謝しています。
今まで部屋が取れず、月一回のリハビリ体操教室(活動)を中止せざるを得ないこともありましたが、部屋利用の申し込み方法が変更されましたことにより、当事者団体として優先されるようになりましたので、中止(休み)もなくなるのでは、と利用者一同期待しています。ありがたいことです。

[財源]

できればメンバーからの会費と助成金で活動できればいいのですが、まだまだ保護者からの会費でないとまかなえません。全員が社会人になっていてもその中の給料からではむずかしい。
協力者への謝金が多く払えない。
資金は全部実費です。これから高齢者になっていくので、負担を軽くしていきたい。
合奏に必要な楽器が高価で十分な調達が出来ない。
資金は会費からですので会員が少なくなると資金繰りに困ります。
障がいのある人たちの働くパン屋をつくる準備をしているが、初期設備にかかるお金をどうやって集めるか悩んでいる。
公的資金が先細りなので将来が不安である。
古紙回収の収入が減少したため、今までできていたイベントができなくなって子供の参加者が減ってきている。

[運営]

介護している人は多数おりますが、なかなか会合には出てこれられないのが残念です。
はじめてから満3年を経過しましたが、会員が年齢と健康の問題等で脱落、会員数維持がなかなか大変です。特にケアプラザの事業であるスッキリ体操と全く同じなので、会費を取るため、会員が減りがちです。その辺りに難しさを感じます。
活動4年目に入って、今、うまく回っている。
グループ活動が10年以上続くとリーダーが老齢化し活性化が難しくなること。 15~20名程度のメンバーの活性化に努めると各自の個性と活動意欲で自己主張が前面に出るようになること、リーダーの勉強不足と時間不足で活性化困難。
10年目をむかえ、ボランティアさんも安定し、助成金もありがたく不満をいえばきりがないが、ご利用者さんへのサービスも全員で見守り支援型の配食を行っています。大変よろこばれ感謝される程にこの仕事の大切さを味わい、かみしめてやっています。特に引きこもりがちの方への配慮など。ただ、ご利用者さんの発掘がかなり難しく、個人に立ち入ること、家族の理解不足、制度の趣旨を説明してもらえなかったり、ご高齢者相手故、変動が激しく、とまどいも多い。
居住者で未加入者のうち、特にアパート住居の若者の入会を増加する方法を検討実施中。
参加者が少ない。増やしたい。
推進員の任期は3年で市からの任命。一方、チーム員は任期2年で区よりの任命。同じ様に活動しているのに、上下の差があるようで人間関係までおかしくなっているところもあります。なぜ、一緒にならないのでしょうか。
会員数が増えないこと。現会員が皆思うことは、もっと若い頃から始めていけばよかったということです。そのた

<p>めにも40歳代50歳代の会員を集めたいのがうまくいきません。ケアプラザ内での公開講座や普及活動をどのようにすればよいのか難しい。また、他地域との交流を考えると駐車場を増やしオープンにして欲しい。</p>
<p>ボランティアと参加者との年齢差があまりないので、ボランティア補充を考えなければならない。参加者、ボランティアの会費400円。物価高と補助金削減でいろいろな面で余裕がなくなっている。</p>
<p>メンバーが減ってしまうこと。</p>
<p>子供が少ないので会員がなかなか集まらない。</p>
<p>NPO 法人として全国で活動中です。ボランティア活動を充実・輪を広げるためにも、今後も会員の増員がぜひとも必要であります。参加する場合は資格検定があり、資格取得後に活動に参加することになります。</p>
<p>会員の減少、新加入者が少ない</p>
<p>現在、活動している会員の高齢化が進んでおり、若い人たちへの勧誘のやり方を考えている。(PRのやり方、ニーズのとらえ方など)</p>
<p>グループ内の世代交替をいつも念頭に置いているけれど、若い方々の参加がほとんどない。講習会終了後の定着率もどんどん下がっている。</p>
<p>ボランティアの後継者が続くか。</p>
<p>若い人々をいかにして社交ダンスに取り組むか。</p>
<p>一昨年までは会場の予約が大変でしたが、昨年は半年分を「ボランティアルーム」の予約を許してくださったので助かりました。メンバーの年齢が高くなったり、障がいが増したりと、参加メンバーが少なくなり、新メンバーの参加を呼びかけても増えないこと。</p>
<p>マイカーを使っただけの送迎、また、各利用者宅での家事等支援活動は、利用者とボランティアの関係が良好であっても、その中身がボランティア全体に知られる機会が少ない。ボランティアセンターから依頼されたことを黙々とこなすボランティア活動の内容を知らせる広報活動を、今より積極的に行っていないと、数の割には地域にもボランティア自身にも理解が深まらない。</p>
<p>参加親子が40～50組ぐらいと多いので、子どもを見守るボランティアが少ない。ボランティアに交通費程度の謝礼を出したいのですが、少ない参加費ではなかなか工面できない。 お母さん達に参加するという意識ではなく、自分たちで「ひろば」の運営・企画をしてもらいたいのですが、押し付けではなく、積極的な活動をどのように促したらよいか、行政からも意見が聞きたい。</p>
<p>子どもの数と協力者の数のバランス。学童班の下校と訓練開始時間の調整</p>
<p>個人的な考えからはじめた活動ですが、私をはじめコアになっている人たちが、それぞれ病気を抱えていたり、病人を介護したり、介護の仕事をしていたり、なかなか思うように活動できず、残念ながら現在「開店休業」の状態です。</p>
<p>民生委員児童委員として、近隣による見守りと支援のための行政機関、他の団体などとの連携体制の強化を考えていきたいと思えます。(家族だけではかかえきれない様々な問題の解決を早急に取り組むこと)</p>
<p>いつも住民のために「これでいいのかな」と考えている。新しい仕事のアイデアも浮かぶがやはりボランティアにあまり負担も掛けたくないと思うので、今までの活動を続けることになってしまう。筋金入りのボランティアが欲しいと思っている。</p>
<p>単位自治会によっては役員が1年で替わるため、年度初めのスタートに時間がかかること。当協議会のメンバー(理事)は単位自治会からの推薦のため(全構成の半分)</p>
<p>ボランティアの高齢化が進み、若い人たちへのPRをいかにするか。</p>
<p>人材・担い手について。これからの担い手に若い世代のボランティア参加について、何かしらのアクション作りが必要ではないだろうか。認知症や精神疾患のある方に対する理解を進める講演会などを行う普及啓発が進み、相互の立場に立つことができる人材育成につながるのではないだろうか。</p>
<p>在宅支援活動の性質から、利用者の望む時間と働く人の都合のずれや偏りがあり、ニーズに応えきれないこと。日々の活動に追われて市民活動ならではの企画を立て、長期的複眼的に団体の運営をじっくり考えメンバーに浸透させていくゆとりがないこと。</p>

そよかぜ保育園の子育て支援を、より地域の方(子育て中の親子)に知っていただくための広報活動の方法が課題です。

[運営に携わる人材]

運営人材
会員の全員が60才以上なので中心的な活動をする人が少ない。会で決めた行事に参加はするが、行事の決定は幹事にオンブにダッコの状態である。幹事の負担がだんだんと重くなっているため任期を2年として交替を望んでいるが、後継する人がいないので結局は現幹事が続けるようになってしまう。
指導者の不足、スカウト(子ども)の減少
役員が同じメンバーで、後継者が出てくれないこと。90歳になり、会費免除の方が幹事をやっている。勧誘されたとき「好きなことをやっつけばよい」と言われて入会したので「幹事をやらせるなら脱退する。」という。要するに誰か裏で骨を折る人がいないと好きなこともやれない、という事に対する自覚がない。自我が強くボランティア意識は薄い。だからいつまでも会長や幹事をやらなくてはならない。
単位クラブの会長が高齢化し、交替人事を考えるが、後継者のなり手が少ない。
連合会の役員(理事)は区内11地区の連合会長が自動的に就任するが連合会三役のなり手が少ない。
地域の活動についての参加意識が不足のためか、一部には「役員が役員のためにやっている」程度の認識があるように思われる。特に30~50歳くらいまでの中年層者にあるようだ。一方、この層は「生活が精一杯」とも思われるが。
組織強化を図りたいが、率先して幹部になり手が少ない。
担い手の世代交替が今後の課題

[会員・メンバーの高齢化]

1. 役員、特に幹部の交替が困難で高齢化し、行事がマンネリ化してしまう。
2. 奉仕活動に参加する層に限られるきらいがあり、交替や若返りがスムーズにいかない。
3. 行事の内容を充実・発展させたいが、2の若返り、交替が必要である。
4. 外部の刺激・啓発を得る方法が必要である。(交流も)
私達の会は高齢で、上が90歳から下が60歳です。楽しみを作って思い出と今までのグループの仲間との交流を大切にしていますが急患が出た時、一番困ります。
ボランティアの高齢化
メンバーの高齢化
会員の減少、若手がいらない。高齢者の運動が少ない。バスハイク等の見学先の歩行を嫌がる。若手のボランティアがいらない。ボランティアも高齢化している。
会員減少、高齢化。ボランティアいない。
会員の高齢化
①高齢化、②意欲減退化現象
会員の高齢化→今後積極的に会員の募集を行いたい。
会発足から9年を過ぎ、会員の高齢化により、体力の低下から屋外行事に参加しない会員が増えてきた。

[設備・備品]

備品に関して、マットなどの貸し出しをして欲しい。部屋の確保に苦戦しています。
現在、体操に必要なマット、または機具を特別に借用しています。
調理ができる設備がほしい。
心肺蘇生法に必要な人形とAEDの備品をそろえたいです。
視覚障がい者にテープで情報提供していますが、昨今、テープからCDへと移行しつつあります。CD作成の備品

が高く、ボランティアの会としてはなかなか買い揃えることが困難です。ハーモニーみどり内の録音室にCD製作の為の機材がそろえることが望ましい。

[送迎]

団体会員さんが重度障がい者の上に高齢者と重なり、通院の回数及び、交通機関でバス、電車を使つての会のイベント参加にも苦難苦痛を要しているようである。会、幹事、皆もこの問題は大きく、毎回の大きな議題のテーマとして苦慮しています。仲間との出会いが一番うれしく喜びである。

活動拠点までの送迎、ボランティアの高齢化、利用者不足、後継者不足、社協の送迎車をもっと効率よく利用できないか。利用しづらい。地区リハのとき、急病または不慮の事故のときなど看護師・保健師が不在のため心配我々リハビリ等の団体においては移動時の乗り物が重要であるが、最も必要とするものの中止により行動範囲が狭まれ、かつ、行動しにくくなっている。もう一度、考慮してほしい。(国に働きかけてほしい。)

[情報]

精神障がい者の家族となっても差別感があり、相談話し合う場に出てこない家族が居る。みどり区広報誌等に家族会の活動等を紹介してほしい。家族会に出席することにより救われ元気になっている親も多い。

活動を広げるためのアドバイス・方法が知りたい。

[その他]

今は課題も困っている事もない。手さぐりで始まった状態なので。

困っていることはない。必要に応じ、鴨居連合自治会、関連団体、行政、又はケアプラザの協力・連携をいただき実施している。

会が発足して一年未満なので、他の選択肢については現状で特に困っていることはない。

自治会活動に、ほとんどの人が無関心であることが問題です。

老人会に友愛員は必要ない、との声があるがそれは違うと思う。「1人じゃないよと気づかうこと。支えること。助け合うこと。声を掛け合うこと。」住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けられることができたと思う。

マンション・アパート住民並びに若者の自治会離れ

会員の高齢化が進み、参加したくても歩いて活動場所まで来られない方がだんだんと増えている。送迎があれば、と思うことがありますが、現在の体制では難しい。送迎のシステムを実現させるには、別のボランティアを立ち上げる必要があるのではないかと考えるが。行政で利用しやすいしくみを作っていただけないだろうか。

日常の事業展開の中で、活動センターだけではやりきれないことを、場所を移してやりたいがなかなかないこと。会員となる対象者を行政が探してくれないとつながらないこと。より多くの人に活動センターを知ってもらうための地域との連携。

現在のところ、状況に満足しています。

連合自治会に加盟していないから、他の団体との交流できない。その理由の一つには会員の中に加盟するのを嫌がる会員がいること。

同じメンバーなのでたまには保育士さんなどを呼んで、違う遊び方を教えて欲しい。

個人情報保護でなかなか立ち入った活動がしにくくなった。

メンバーがミュージカル出演、音楽祭、コンサート、バレエ上演、合唱団伴奏など、多角的なため、スケジュールが合わないときもあるが、その中を地域の方とのサロンコンサート等、行いたいと思っている。

小学校の現状の中で個性をつぶされ楽しい学校生活を送れなくなる子ども。ボランティア不足で、個別支援学級の子どもの自由な普通級への交流ができなくなっている現実。

特に困っていることはない。(特になし等、他9件)

20 今後、団体の活動が向かう「あるべき姿(イメージ)」はどのようなものですか？ <問18> (自由記載)

安定した財源と優れた人材
仲良く、楽しく。
メンタルヘルスケアの資質向上。勉強・研究をするための会場の確保
希望的なイメージを作ることができません。益々、高齢化社会となり、支える側が必ず不足すると思います。いつまで存続できるか、不安に思っています。
メンバーたちの交流/余暇活動の場なので、運営は親たちが動いても資金の面では助成金とメンバーたちの給料の中から出して活動できたら、自立した活動に少しはなるのでは、と思う。
アレルギーについての悩みや不安がサークルを利用する事で軽減されること。
色々な社交ダンスのスタイルがあると思いますが、私たちが目標としているものは、シルバー年齢になった方々の健康づくりと生きがいをもとめ、将来、明るく健康で生活ができる様、ダンス以外に、健康づくりの体操などを取り入れ、幅広い身体づくりをできればと考えております。また、お互い高齢の方々に地域以外でのコミュニケーションができるようにしたいと考えております。今後において、地域ケアプラザや自治会との連携を考え活動したいと考えております。最後、行政からの支援をいただければ、活動がより一層活性できるものと思います。
ソーシャルワーカー、ケアマネジャーが地域内で連携し、専門的な知識・技術を高められ、交流を図れる場を今後も地域で定着させていきたい。
障がい児の子育てに前向きに取り組む親と子(あらゆる障がいOK)が、それぞれのできる範囲の会の役割をこなしつつ、子育てに十分に組みこめること。会の運営がスムーズに円滑に行われること。会員数やヘルパー(協力者)数、資金等の増減の心配がないこと。
今のままでよいと思う。
緑公会堂におけるイベントの参加方法。(特記)最近、北部障がい者のイベントに2回程度、尺八と詩吟でボランティア活動した。広報などで見たことがない。
参加者が目下4人。あと4~5人増やして、ギターのアンサンブルをしたい。
地域に住む外国人が、住みやすい毎日を送れるようにするには、まず「日本語」の習得である。そのお手伝いを少しでもやりたい。
悪天候や体調不良での無理な外出参加は必ず取り止める様にと連絡は必ず行っています。入会者があっても中途退会者が無い様にと健康を含め気遣う今日この頃です。
健康・友愛・奉仕のうち、特に個々人の「心身の健康」につながる活動を目指したい。会員(候補者を含む)が魅力を感じ参加したいと思うような活動がいかにあるべきか模索中。
介護している人達の健康と介護が苦にならない様、自分達の運動のためと思って向かっていけば、楽しみながら介護ができる様になると思います。そのような輪を広げて行きたいです。
団塊の世代の定年を迎え、趣味作りの一助になればと思う。
入居者が自身で考え、自身で決めてその人らしい生活が送れる環境づくり。
現状維持。
学んだ英会話を地域で役立てたり、地域の色々な人々と新しい出会いがもてればと思っています。
地域との連携を図り、地域に貢献すること。(それには問16の○印等からの情報をつかむ努力を行っていききたい。)
あくまで、継続したい。その辺りの意気込みがインストラクターに響くので、強い意志でこの運動を継続し、輪を広げたいと思っています。
細くても長く続けていきたいと思っています。常に扉を開け、困った時にかげこめるような姿でいたい。また、障がい児の仲間作り、居場所作りは一つのテーマとして活動していくつもりです。
アカペラで歌うことを目指して4年。リズム感と体力づくりのために、リズムストレッチを行って2年。発表の場はハーモニー祭りですが、アカペラで歌いダンスを取り入れ、発表の場を広げて行きたいです。(ボランティア)

健康を目的。その他、交流。
介護予防の体力づくりで出来るだけ介護支援を受けないことを目的にしています。
健康で種々勉強して会員相互の交流を深める。月例会を企画、運営、改善と回して行く。
だれでも気軽に参加できるようにしていきたい。
幼児教育にたずさわる方々と情報交換や勉強会をし、発達障がいへの理解を深め、それをひろめていくこと。
民児協について:現在は特定の少人数の活動が重なり片寄っているが、今後は平均的全委員の活動として、会の活性化に努める事で大きな展開をイメージしている。
子育てサロンについて:ボランティアの高齢化かつ避けられない現実の中で、地域に広くPRして、住民の関心を喚起して、若い人々のボランティア参加を促したい。
元気高齢者づくり。
明るく済みよいまちづくり、子供達が故郷(ふるさと)と感じるまちづくり。 会員相互の親睦と自己実現を図ります。
自分達の撮影記録を地域の人々に見てもらいたい。また、見てもらいたい写真を展示する場所が無いのが残念です。
この町で安心して暮らせ、仲間の一員として誇りと自信を持って生の喜びを存分に味わってもらいたい。それには、私たちがどんなサービスをしたらよいか、その時間の捻出はどうやって。沢山の問題がある。 ボランティアの高齢化もその一つ。配食サービスは介護予防の大切な手立てだと信じ、引きこもりの防止、言葉かけ(話し込み)、庭の手入れ、草花をめでの気持ち、中学生を交えた会話のひとつも考えている。
霧が丘地域内で、老人クラブ活動との連携(例えば美化活動への参加)あ、施設訪問(例えば干支絵入り年賀状を持参しての訪問等)を行っているが、これらを拡充したい。もちろん仲間と交流を図り、絵を描くことを前提に。
人それぞれが持てる力を発揮出来るように連携をとること。
オカリナ吹奏を通して会員自体が向上する喜びを持ち、老人ホーム等で披露することにより、地域とのつながりを感じ、やりがいを持つこと。
慣れていないので試行錯誤。イメージを作るまではしていない。
子育て中のお母様方が気軽に参加でき楽しめる団体
1. 行政や関連機関、団体からの啓蒙・指導が必要。 2. 他の同類の団体で特に優秀な実績を持つところの情報を、行政や関連機関から情報として流してほしい。それらを参考として取敢えずマネをするのが手っ取りはやい。
若者の加入、育成が重要(次の幹部へ期待すること。)
和を大切に上達したい。
デジカメの撮影や映像のパソコン処理技術を高め、地域の文化向上や地域全体の活性化に貢献すべく努力すること。
20年来の結成の実績があるが、親が高齢化のため出席率が悪い。会員が安心して支え合える会でありたい。
活動を行っていく上で、運営者のスキルの向上と、参加者同士の交流などを目的として行っています。
一人暮らしの方の参加を待っています。
会員を増やし、段階的な学習をする。その上で、障がいの理解・技術向上を図り、必要とされる援助が速やかに行えるようにする。また、地域に住む聴覚障がい者との相互理解、援助(一方的ではなく、相互に)がスムーズに行えるよう努力し、災害時につながるネットワークを作る。
当初はウォーキングにより健康増進であったが、最近は社会的施設や名所旧蹟の見学が増えつつある。会員からは個人ではなかなかいけない場所に参加できるので好評である。それだけに幹事の見識や経験・情報収集が決め手となる。
脳トレを行いながらパソコンの操作を習得してミニコミ誌を発行しているが、発行部数を増やして活動範囲を拡げて行きたい。
障がい者、健常者の壁を越えてお互いといい、ライバルになれること。(ボウリングにおいて)

地域の人たちに日本の伝統文化を伝え、煎茶の楽しみを知ってもらい、また、子ども達にも作法として、あいさつの仕方やそれをいただくための心得を体験してもらおう。
親子共に交友関係が広がり、情報交換ができ、集団の中で楽しく過ごせれば良いと思います。
子育てママ達で気軽に集まって互いに相談し、コミュニケーションをとりあう場にしていきたくと思っています。長く活動していきたくので力まずにやっています。
ハーモニカの演奏、合奏の練習をしているが、もっと習熟して、イベント出演や高齢者・障がい者への慰問活動等を積極的に行うこと
青少年の健全な育成のため、より多くの理解者を得ること
子ども達が色々な経験をし、のびのびと育つ様、見守りたい。
行政からの独立
ミニデイサロンの誰もが立寄れる場所づくりの提供。 ボランティア相談室については、生活に関して支援を必要としている人が自由に要請できる環境づくり。病院等の受診も手助けするためには、車での活動も必要になります。
プライバシーに関わるとかで、どこまで入り込めるか、とてもむずかしいところです。
会食会は地域の高齢者を対象にした食事会です。一人暮らしの方々やお昼に一人になられる方々を対象にしていますが、まだまだ引きこもっていらっしゃる方が多い状況です。お友達を作る意味でもたくさんの方々に利用されることを願っています。
子ども達が安全、健康、心ゆたかに育つように保護者が地域の皆様と手を取り合って行ける事です。
健康づくりに関する知識。
これから老後を迎える人たち、また、退職後の人たち、子育て中の人たちで楽しめる活動にしたい。そのためまずは地域に事活動を広く知らしめたい。
子育て支援(保育、親子あそび、あそびのひろば)を、これからもこつこつと続けていきたい。
健康、友愛、奉仕の活動に組織が一体となって実行できる体制が欲しい。われわれはそれぞれに何年か後には同じ場所へ行く宿命を持った者の集まりである。だから、まともに働けない人がいることも事実だが、若いのに全く反応のない人が多い。また、60歳代の若い人がいないのも事実で、参加者が常に限定されているのが淋しい。まず、ボランティアが楽しく関われないと参加して下さる人も楽しさが伝わらないし、食事もおいしく感じないと思う。食事以外の楽しみ方も考えていけたらなあ。
人材に困らず、地域に貢献、運営できること(人材が充実しないと提供できず)
みんな仲良く。
フラダンスを通して地域との交流を図り、かつ、自分達の健康維持。
メンバーの技術・演奏技能の向上と、各種施設での慰問、イベント参加での社会貢献の両立。
基本目標5「安心・安全・健康」のまちづくり①災害・緊急時や犯罪防止などに地域で活動できるように取り組んでいきます。場と機会と訓練の維持継続(語り)
安定して参加できる人が多くなり、参加者減の心配をしないですむように、また、場所の確保が今後も無理なくできるようにしたい。その上で会員の学習効果が現れ上達してもらいたい。
誰でも気楽に参加できる場所があることを知ってもらいたい。
同年代の子育て情報を共有し、継続的交流を図る。
こども同士のコミュニケーション力や身体能力の向上 親同士の情報交換、リフレッシュ等 これらの目的で、母親だけでなく、父親も気軽に参加できるようなサークル活動 第2子誕生後も続けていけるような各個人の負担の少ない楽しいサークル
体操を通じお互いに健康を維持しながら交流会を持ちたいと思います。
私達の活動は、健康を目的に楽しく明るく不安を取り、毎日を楽しく過ごすことです。会員一同、年齢に見えなく、元気一杯活動しています。

<p>区内の高齢者(男女を問わず)が抱える諸問題を取り上げて、解決の方向性を見定める力量を持つこと。企業の人員整理が世情不安を招く大きな要因になりえる。高齢者の持つ人生経験、企業内活動の諸分野の知識を生かすことの配慮が必要と思う。</p>
<p>私達、車椅子レクダンス普及会は福祉レクレーション・ネットワークにも加入しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 障がい者も高齢者も健常者も皆同じという意識を持つこと 2 社会に尽くせる喜びを実感すること 3 あらゆる行動を通じて相手を思いやる心を持つこと 4 社会環境のあらゆる場所にバリアフリーを実現しよう 5 全市町村・全世界への普及を目指そう
<p>多くの方に知っていただき高齢社会を生き抜くための健康を願っています。</p>
<p>絵てがみの講師認定者団体で、会のメンバーが緑区、旭区、泉区、山梨市と広域にありますが、絵てがみを通して、それぞれの地域でいろいろな形態で地域の皆様に還元してゆけたらと考えております。</p>
<p>「銀の会」で「学ぶ、習う人」の層を厚くしてその中から「教える人」が出来るだけ多く出てきて、みどりのわ・ささえ愛プランの基本目標2(人材、担い手)に貢献できることをも目標の一つとしております。</p>
<p>会員の積極的な参加</p>
<p>お顔を見て、知り合い、長い年月につき、楽しい事、思い出が多々数多くあります。大切に思うことは同じですが、健康第一に考え、1週間に一度、皆と会う楽しみを持っております。(人のふれあいを大切にしております。)</p>
<p>現在、全員が健康で楽しくまとまっており、このまま継続したい。</p>
<p>英会話の向上</p>
<p>楽しく音楽にあわせて踊っての健康づくり、身体的にも頭の回転にも老化防止(介護保険に世話にならぬよう)</p>
<p>老後の健康、親睦</p>
<p>末永く、健康で続いていくこと</p>
<p>健康増進、老化防止等、年齢層に応じた計画</p>
<p>会員のほとんどが高齢者のため、平均年齢の低下を進めていきたい。(世代間の交流)</p>
<p>全員 70 歳前後のグループであり、現在の穏やかな仲良しグループのままでよい。</p>
<p>地域の誰もがボランティアとして参加できる事。その為に情報を誰もが知り得る事、全てのものに出席しなくても1番得意とすべき点で個を発揮できる場</p>
<p>会員が無理せずにボランティア活動に参加して、息の長い活動を続けていく。訪ねたところでの皆さんの笑顔に接していくように私たちも努力を惜しまない。</p>
<p>以前から、子供から高齢者までのボランティアとして一同で参加したいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。(特にまずは「なかよし会」ではと思っています。)</p>
<p>会員同士が手をたずさえていく方向が望ましい。</p>
<p>配食サービスを月2回くらい行いたいと思っています。</p>
<p>「健康横浜21」に従って、特に食事・運動の面(今までの同じですが)を充実させていければと思っています。</p>
<p>高齢社会に向けて「ぴんぴんころり」をめざして転倒予防と介護予防のため身体を動かし、仲間とおしゃべりをしたり旅行に行ったり日常生活の情報交換をして生活を豊かにしていけること。</p>
<p>知的障がいを持つ子供や成人、その保護者の地域での「普通の暮らし」を望んでいる。そのため、全日本手をつなぐ育成会からの情報を会員に周知し、また、地域の福祉情報についても会員に伝えていきたい。行政へのお願いも続けていけることを望んでいる。</p>
<p>会員が年を重ねてもそれなりに楽しく活動できるようでありたい。</p>
<p>囲碁という趣味を通じて、リタイア後の地域の人々との交流を図り、それぞれが充実した老後の人生を全うできるような環境づくりを行っていくことです。</p>
<p>メンバーが増え、点字図書館の蔵書だけでなく、プライベート対応がきめ細かく出来ればと考えています。さらに世代交替が進んでも、活動が継続し続けること。</p>

子育てに有益な情報を共有しながら、同じ年代の子ども達を楽しみながら育てていく。
友愛の活動によっては他の団体などの協力がなければ出来ないこともある。民生委員の方も老人会に加入してもらい横の連絡をとりながら効果的な活動をしたい。現在、鴨居地区では民生委員との交流会を年1回行って情報交換等をしている。民生委員1名と友愛員1名で毎月第1・第3月曜日に傾聴ボランティアを行っている。
地域住民の一体感の醸成
体操は楽しくなければ続かない、続かなければ効果がない、を合言葉に活動をしています。参加して下さった方が体を動かすっていいね！みんなと集まるっていいね！という気持ちを一緒に味わっていただけるようなつどい・実践をめざしたい！依頼先が増えるといいな、と思っています。
現在は会食事業と配食事業を同時に活動しているが、それぞれを独立させていき、会食については送迎の問題を解決する方向へ、また、配食を利用されている方々の現実問題としては、年に何回かというようなレベルではなく、理想は毎食配食できる位の必要があるのではないかと。しかし、ボランティアでそこまで対応することは難しい。せめて毎月2回くらいのペースで活動できたらと考えています。
親子でリフトエアロビクスをやっているが、まだ子供たちは勝手に遊んでいることが多いので、親も子も楽しんで体を動かせるようになっていければと思う。
女性コーラス団体で、地域ケアプラザやグループホームなどで要請があればコーラスを聞いていただいています。自分達も高齢者になっていくわけですし、高齢者の方に歌を通して楽しい時間をもっといただければうれしいと思います。今後もこの考え方でやっていこうと思っています。
心の病をもつ人々が活動を通して自分なりの社会復帰への足がかりをつかむ。
自助努力で健康に留意しながら死ぬ瞬間まで仲間とダンスを楽しむこと。
昔からの土地付きの人(いわば地主さん)と、新しい人(中間年齢層)が、より溶け合って、新しい町づくり形態にならないといけない。
高齢者、障がい者、子育て世代の方への地域における援助、行政の対応は充実してきているとは思いますが、人間の生涯は身近な地域の中にあると思います。地区社協が地域福祉の中核になって活動できる環境ができたらと思います。
高齢者がいつまでも元気でいられるよう、活動の回数を月2回から4回に増やしたい。また、会員数を増やしていきたい健康維持に貢献したい。
21年度からNPO法人として新たにスタートします。地域の活動センターとして今行っている活動センター事業、緑区リハビリ教室事業を中心に、相談支援、情報発信基地としての役割を担っていただけるように地に足のついた活動をしていけたらと願っています。
誰もがいつでも集える場として存在し、参加することで楽しみや充実感が得られる活動。
出来る人が出来ることをやって、助け合っていくのがいいと思う。何歳になっても、どんな形でも自分の足で歩けるよう継続していきたい。
地域のコミュニケーションを大事に、NHKの番組「ご近所の底力」みたいな方向にもっていけたらよいと思う。
月1回のお食事会(準備を含めると3日間)ですが、会員さん同士や会員さんとボランティアとの交流の場となり、住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりを進める上で大変役立っています。年々、ボランティアの数が減り、また、予算も厳しくなる中で現状(今の姿でよいと思う。)が維持できるかどうか、それが一番不安であり、心配なことです。
子供達にとって、学校以外での楽しい場所であって欲しい。
メンバーの充実と、コンサート出演機会が定期的に得られること。
同じ病気・股関節機能障がいのある方が、ひとりでも多く参加して下さり、少しでも日常生活での機能回復になったり、生活が楽しく、豊かになるよう輪を広げて行きたいです。
参加者を増やして高齢者の健康増進の輪を広げたい。
会員を増やして、健康づくりの活動を活発化する。
多くの青少年が、保護者からの教育(しつけ、道徳等)、学校からの知力・学力を学びとりながら、地域仲間から

<p>学びとる体験が、成長に結びつく。地域・仲間づくりからの学びとして、ボーイスカウト活動が意味している。全国市域で青少年の10%の加入があり、どこでも隣近所に団があり、仲間になれるつが姿を期待しております。</p>
<p>送迎活動については、ボランティアに対していくらかの謝礼金を出してもらっている。家事等支援活動の中、①庭木の手入れ、②生活支援(掃除かたづけもの等)、③送迎付き添い(主に一人暮らしの方、車椅子の方)は、同等に利用者から実費として何がしかの金銭をいただいて、ボランティアに支払っている。これからの方向として、弱者保護の立場で送迎、付き添いについては、個人負担を避け、できたら会からボランティアに支払いたい。</p>
<p>会員の募集、そして女性の入会が少ないことと、会員を男性と女性との比率が半々になるようにした。</p>
<p>区民児協の協力を得て、白山民児協独自の活動をしたい。</p>
<p>会員の楽しくレベルアップを目指し、ケアプラザ等でボランティアにつなげていけることを目標にしています。</p>
<p>「コガモ」を巢立っていったお子さんのお母さんと地域の先輩お母さんが協力して運営し、大事な子育て期間を共に楽しむひろば。</p>
<p>若手指導者によるハツラツとした活動が必要。</p>
<p>リハビリを兼ねて交流が深まるようにしたい。</p>
<p>自由に移動でき、遠慮することなく発言でき、もつともつ当事者主体の活動となっていくこと。誰もが心身共に自由に参加できる団体(脳疾患障がい者の方の場合、一歩前に出るまでの勇気、その軽減が出来ればといつも痛感している。)</p>
<p>団体としてあまり枠にとらわれることなく活動したい。それが基本的な考え方です。組織としてまとまっていること、組織の規模が大きいこと、知名度が高いこと、これらは私達の活動にとって重要ではありません。</p>
<p>鴨居5丁目の子供たちやその保護者の方が子供会のいろいろな行事に参加することで、楽しく交流を深めてもらえたらと思っています。</p>
<p>健聴者、ろう者が共に集まり、お互いに情報交換することができる場になること。</p>
<p>若いボランティアの参加の呼びかけ、会の活性化、定期的な勉強会、地域貢献</p>
<p>屋外行事より屋内行事にシフトさせ会員が楽しく参加できる行事を考えて行きたい。</p>
<p>送迎サービス、家事支援サービスのコーディネートをしています。毎月50件ほどの依頼がありますが、ボランティアさんが集まれば病院だけでなく、買物等ももっと気軽に依頼される状態を作りたいと思います。</p>
<p>高齢化が進み、会員さんの数を増えてきているので資金面で今までのサービスが出来るか心配です。今、皆さんが喜んでくれることを、ミーティングをしながらいつまでも続けたい。</p>
<p>会員さんがもっと自由に参加していただき、小中学生との交流・区内のリハビリ教室との交流もし、みんなが楽しいと思う会にしていきたい。</p>
<p>希望者が増えて活動場所が狭いが皆さんがゆずりあって運動しています。</p>
<p>毎日ボランティアをやりたいという人がきても困らない様な組織になるといいと思う。現在では毎日ボランティアをやりたいという人は、緑区社協やケアプラザ、地区センターで引き受けてもらうしかない。それには独自の活動場所が必要になってくるので、地区社協では限界かなと思っている。</p>
<p>兄弟でも参加できる活動をしていくこと ママ達のコミュニケーションや情報交換の場</p>
<p>健康、友愛、奉仕をスローガンとして活動しているが、その心をもって行動している人が少ないように見られる。残念。このスローガンを際確認するとともに、社会問題の解決策も話し合っけたい。戦争体験した老人の愛国心にもとづく策を樹立したいと思っている。</p>
<p>①アクションプランに取り上げられた項目の実現 ②絶えず問題提起を行い、東本郷連合自治会(住民)と行政(緑区・横浜市)との協働による、結果の出る活動 自分たちが高齢になっても後輩が続けてくれること。先細りにならずに同じような形で活動ができている状態であってほしい。</p>
<p>他の団体との連携をとって行う方法があると、受講者はいろいろな知識を一度で得られると思うが、現時点では、予算の出所で問題がでてしまい不可能が多い。</p>

親から離れ、他人の指示が聞け、行動できる、親たちが協力して、子供たちが自立できるように育てて行き、先輩お母さんが後輩のお母さんにいろいろアドバイスをしながら活動ができたらい。
幅広い年代層の方々が隣国の文化を、言語を通じて触れる機会を少しでも多く作りたい。
赤十字講演会を開催し、赤十字防災ボランティア地区センター研修を受けていただき、緑区内 11 連合自治会及び最終的には書く自治会ごとに、赤十字防災ボランティア地区リーダーとして、特に災害救護活動の分野で地域と連携し、防災体制の強化を図ることを狙いとしています。
現在、自治連合会は地区社協と共催で実施中のため、地域の輪が拡大し、各種行事の参加率が増加の傾向にある。
地域に支えられてここまで活動を続けてくることができました。その感謝の気持ちをお返ししたく、少しでも地域でお役に立てるようになりたいです。また、子育ての悩みを一人で抱え込むことが少しでもなくなり、心の支え、リフレッシュできる場であり続けたいと思います。
おはなしのつばさは、読み語りのグループですので、とにかくグループ内の勉強内容を深めて発表する作品の質の向上に努めたい。
自治会館を活用し、昼食会以外にお年寄りが自由に集まれるお手伝いをしたい。
地域に根ざした活動を大切に、個々の事柄にじっくり向き合っていきたい。
詩吟学習を通してのことだが、①吟ずる時の腹式呼吸を覚え、自己の健康管理、②やればできる目標を持つ、③身体不自由者も老いを理由に出不精の人も共に一緒に学習、共に吟ずる楽しみ、喜び、笑い、この家庭を通して人とのふれあいの大切さを知り、近隣の人たちとの互助絆が深まればこれ以上の求める理想はないと考えます。
小中学校の交流を中心に地域との連携による児童・生徒の健康づくりです。
介護保険等公的サービスの事業者として、よりよいサービスを提供しつつも、そこで終わるのではなく、事業を通して学んだこと気づいたことを団体独自の活動を通してより広め、新しい活動を創り出していくことが理想。大きなことはできなくても、地元で生活する市民の感覚と希望を生かして地元の人が気軽に楽しく参加できる活動を続けたい。
会員同士の交流と、地域の方々に楽しんでもらうことが目的です。
視覚障がい者にとって、様々な情報が、晴眼者と同様に行き届くこと。
イタリア歌曲、ポップス等のミニコンサートを通じ、地域の方との交流、また、老人ホーム、病院等のボランティア活動を推進できたらと思っています。
今以上に内容を充実させていきたいです。成長と共に地域に積極的に交わりたいです。
近所の子供たちが年齢に関係なく仲良く登下校し、交流できる関係であってほしいと思います。
単独事業だけでなく、他の団体とも協賛して、それぞれのプランを持ち寄り、ダイナミックな活動をしたいと願っています。(参加者の視点に立ち、決まった日、決まった場所に行けば何でも相談・学習できる事業)
クラシックギターの仲間と共に地域活動
uen: フラワーレメディ、ホメオパシーを中心にした自然療法を学びたい(セルフケアとして利用したい/利用している)人たちの集いの場として育って行きたい。 ヨガの会: 毎月定期的にクラスを行い、地域の人たちが気軽に参加できるようリラクゼーションを交流の場として育って行きたい。
子育てサロンに参加した保護者(母親)に、運営を含めた活動に参加してもらい、ボランティアと一緒に活動すること。 近所の高齢者や小学生・中学生も一緒に遊び、体験できる子育てサロンにすること ボランティアを増やして、毎週開催すること(現在は2週間に一度)
活動内容を地域活性化につなげていきたい。(お祭りやセンターまつり等での活動をしていきたい)
区内の幼稚園・小学校と連携して、発達障がい児が学校生活をスムーズに送れるようにする。将来、成人した時に安心して社会人として活動できる地域。スタッフ養成をして、他区にもレクタスマイルハッピー教室や子ども

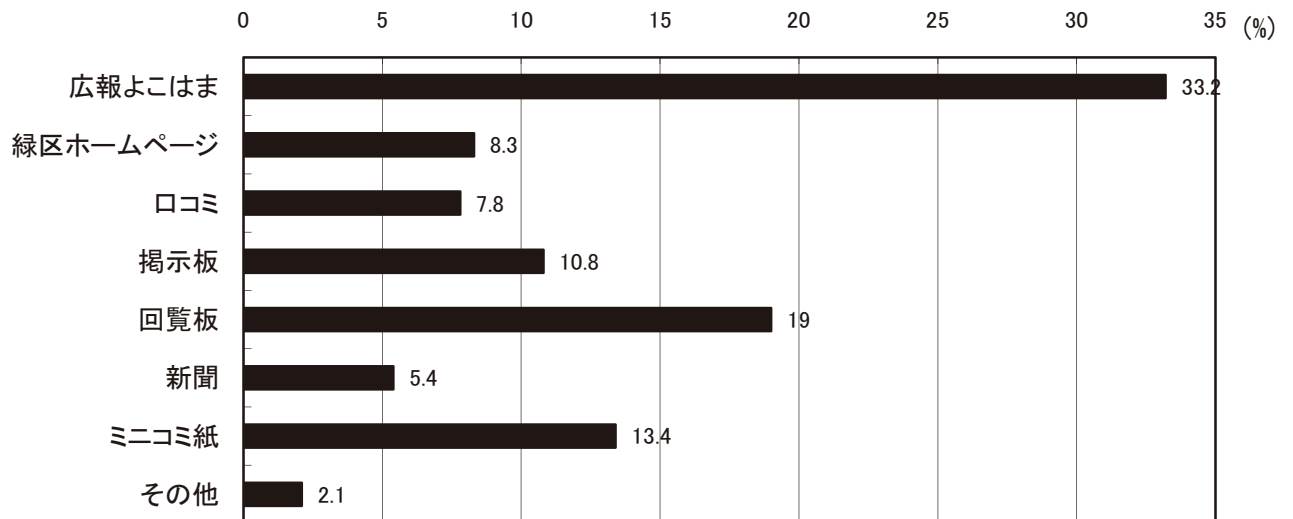
のカフェを開く。

ケアプラザ・お食事会にて「豚汁・ケンチン汁」等の補助ができるのではなく、時期を見て講師の先生のサポートを得れば、先に依頼のあった「お手伝い」が可能なのではないかと考えております。

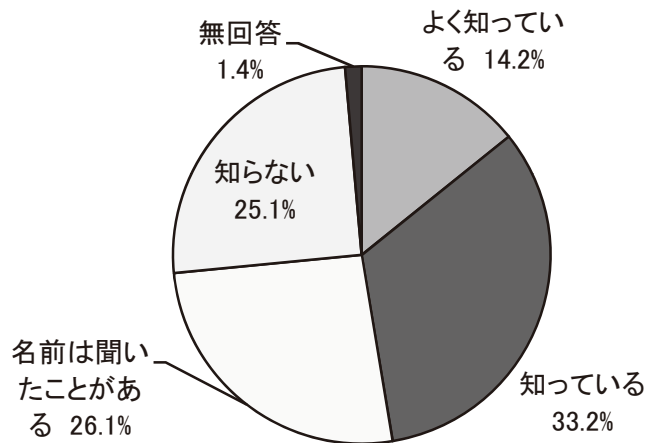
会員 12～13 名いても全員が毎回参加しているのではないので、60～70 名の方への対応は少し大変なのではないかとも思いますが。

21 区政情報を知る手段〈問19〉

(回答数=612) 複数回答



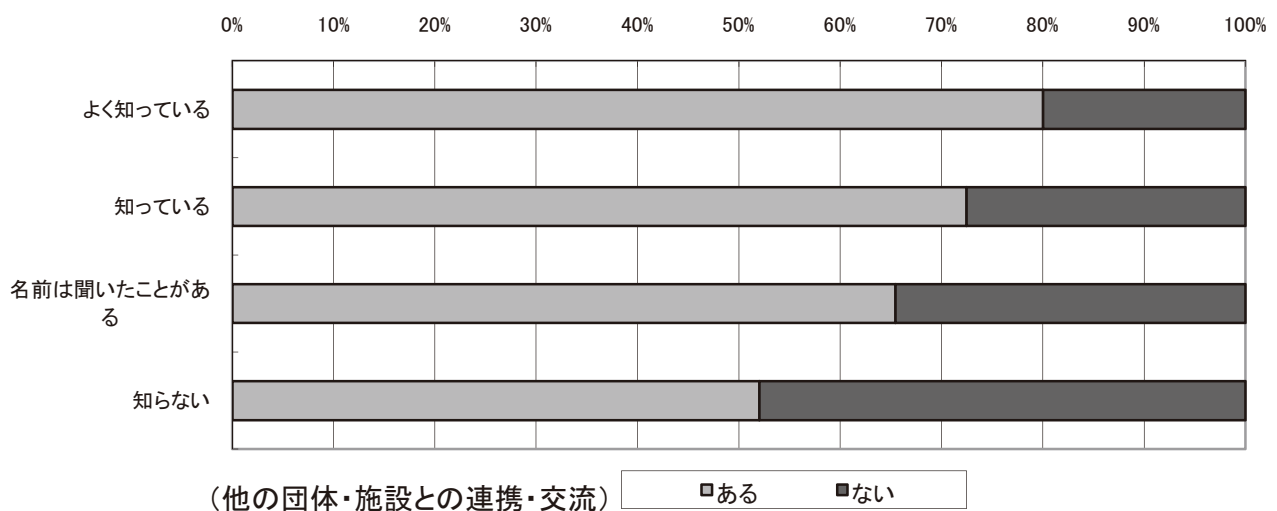
22 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知度 〈問20〉 (回答数=211)



1/4の団体が、「みどりのわ・ささえ愛プラン」を「知らない」と回答しています。

23 「みどりのわ・ささえ愛プラン」周知度別にみた他の団体・施設との連携・交流の程度 〈問15×問20〉

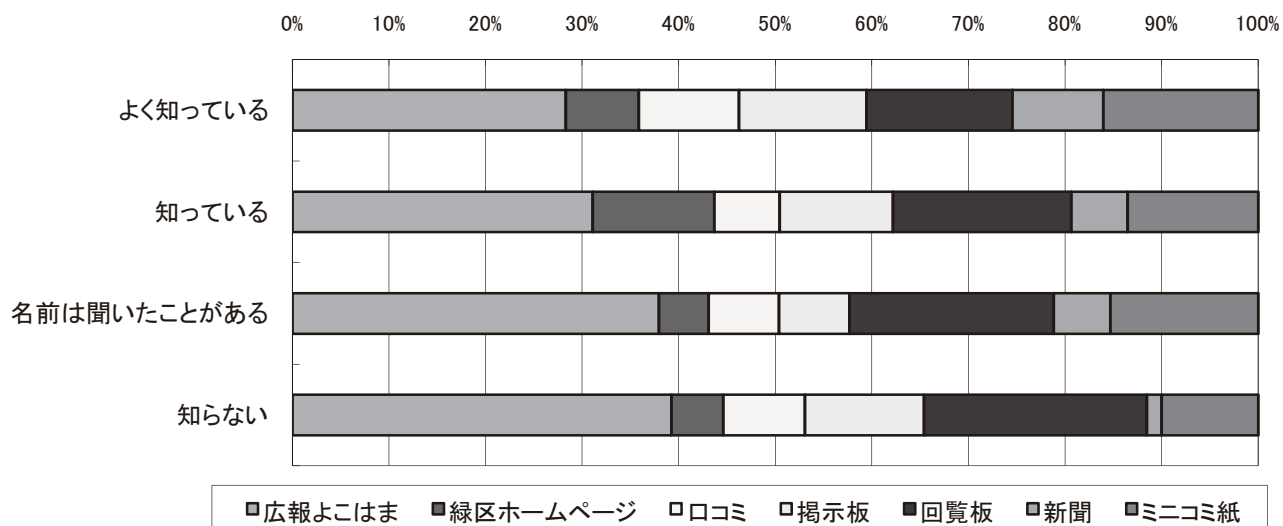
(回答数=206)



「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知度と、団体間の連携・交流の程度には相関関係が見られます。

24 「みどりのわ・ささえ愛プラン」周知度別にみた区政情報を知る手段の程度 <問19×問20>

(回答数=595)



「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知度が高いほど情報の入手方法が多岐にわたっています。

25 平成21年度から、緑区では「みどりのわ・ささえ愛プラン」の見直しにはいります。「みどりのわ・ささえ愛プラン」に対するご意見をご自由にお書きください。〈問21〉

〈内訳〉 総計 103 件

① PRに関すること	21 件	⑥ 地域ケアプラザ	5 件	⑪ 介護、外国人、地域 障がいに関すること	各2件
② 進め方に関すること	15 件	⑦ こどもに関すること	4 件	⑫ 支えあい、人材、相談	
③ 情報に関すること	7 件	⑧ つながりに関すること	4 件	⑬ 防犯、防災に関すること	各1件
④ 内容に関すること	7 件	⑨ 場に関すること	4 件	⑬ その他	15 件
⑤ ボランティア	5 件	⑩ 振り返りに関すること	3 件		

〈①PRに関すること〉

<p>計画を知らない人が多い。このアンケートを受けて私もあわてて計画の概要をホームページで勉強しました。ご苦労も知りました。区民に浸透させる情報をもっと考えるべきだと思います。</p>
<p>計画を知らない人が多い。もっと区民に理解しやすい様に情報の流し方を考えるべきでは、と思います。</p>
<p>私達のグループでは今回の「みどりのわ・ささえ愛プラン」アンケートを見てはじめて知りました。地区センターの動きは広報等で少し知っていますが、福祉・社協には無知でした。</p>
<p>みどりのわ・ささえ愛プランを知らない人が、まだまだ地域にはたくさんいると思います。なので、このようなプランがあることをもっと広く伝えていただくと良いと思います。</p>
<p>もっともっと大勢の人に理解してもらえる様に PR すべきだと思います。</p>
<p>広報に載せたからもういいでは、内容が徹底しない。関係者を集めて講習すべきと思う。「みどりのわ・ささえ愛プラン」といっても内容に不明が多い。区民の中に入ってきて、説明して、勧めて徹底される。内容徹底が薄い。知っている人は知っている、知らない人は知らない。</p>
<p>回覧等で名前は見聞きしていますが、しっかり読んだ事はありません。皆さんにもう少しアピールするものがほしいです。</p>
<p>私たちはあまり知りません。詳しく知りたく思います。</p>
<p>活動している会に連絡して内容を知りたい、理解したいと思います。このプランなどは知っている人は少ないと思いますが、どうでしょうか。</p>
<p>プランの名前は知っている程度で、ほとんど知りませんでした。よって、同プランに対しての意見もありませんが、今後はもう少し、プランの内容等を勉強させていただきたいと思っております。</p>
<p>「みどりのわ・ささえ愛プラン」という名前は聞いていましたが、内容についてはほとんど知る機会がありませんでした。認知度は高くないのでは。</p>
<p>まだ住民の関心が薄い。PRが必要と思う。</p>
<p>「みどりのわ・ささえ愛プラン」のことを私のように知らずに過ごしている人も多いのでは。</p>
<p>区民の中で「みどりのわ・ささえ愛プラン」は何をしようとしているのか知っている人は何人位いるのでしょうか？このネーミングも残念ながら、一握の人が知っているだけではないのでしょうか。</p>
<p>5つの基本目標と15の小目標を設定、計画と策定されましたが、その具体的推進が見えてきません。もっと「広報よこはま」や回覧板、ミニコミ紙を活用して繰り返しPRし一人ひとりの意識を高めさせることが必要と思う。(緑区ホームページをはたしてどれほどの人が活用しているか？)</p>
<p>目標4: 個人情報との関係で必要な情報が集まりにくい。行政からの情報の徹底策も必要でしょう。</p>
<p>チラシを見る機会がなかったので、どこかで目にふれるような場所にあるとよい</p>
<p>地域と深く関わっていない人たちでも気軽に地域のボランティアに参加できるように簡単に気軽なボランティア活動、楽しめるようなワークショップの情報がたくさんあるとよいと思います。図書館や回覧板でしょっちゅう目にとまれば、気になって参加しようという気持ちがわきやすいのではないかと思います。</p>

「みどりのわ・ささえ愛プラン」を区民全体に浸透させること。地域ごとの重点課題を明確にし、地域全体で実行・実現させる体制と人材づくりを進めること。
本プラン自体、聞いたことがありませんでした。まずは知ってもらうことからではないでしょうか。
「誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして～一人ひとりが主役・共に支えあうまちづくり」を基本理念として、5つの基本目標、15の小目標を設定し、計画を策定したことはすばらしいと思います。いろいろな機会をとらえてお話を聞き、広めていただきたい。

<②進め方に関すること>

なかなか活動の成果がみえないように思います。一つ一つで良いので、具体的にプランの実行を行ってもらえたらと思います。
プランは時間をかけて作成されていると思われませんが、関わった人々が苦勞して実践し、又は実践中にあるものの延長上を目指しているか、絵に描いた餅になっていないか。
福祉教育や、さまざまな講座等を行ってみてはどうですか。
基本理念⇒小目標の詳細結果報告がほしい。全般的に身近にその成り行きが感じられない(知りえない)
「みどりのわ・ささえ愛プラン」がもっと地域のために活かされることを望みます。
意見交換から始まって、現在はそのプランが「当たり前」に実施されるくらい、“地についても”として実っていると考える。各種サークル、ボランティアの活動が盛んでむしろ一元化というか、スジの通った1本化が望ましく、行政は指導すべきと考える。
計画→実施→評価→計画と改善の輪を回す。
内容はとても素晴らしいと思うので、あとは、小目標一つ一つに対して、煮詰めて頂きたい。具体的に、そのために何をするのか等、目標理想が一人歩きしないよう、がんばっていただきたいです。
プランの現状は「今よりもっと良くする。」「今までやっていなかったことをやる。」ことになっていると思う。本当に必要なのは「どのような町にするか」という目標を明示して、それを実現するためのプラン」だと考える。現状のプランのままでは、少しでもやっていれば「前進、進歩した」ということになるが、目標にどの程度近づいたのか、という評価が出来ない。やっている人だけの自己満足になりやすい。
一定の限られた人たちだけの取り組みではうまくいかない。地域の人々全体の力で取り組みあえる組織作り、一人ひとりのプランに対する思いを大切にすることと、関心が必要である。顔ぶれの変化に期待したい。
平成12年8月より「住んで良かったと思える町を目指して」まず、支えあいの会の送迎サービス活動が、また、平成13年2月より家事等支援活動が、地区社協の全面的な協力により、ボランティアセンターの受付を通して開始した。基本目標1・2・3は、私達の会の目標と重なりあっている。今後も中身を充実させながら、同じ目標を掲げて、活動の実践をしていく。見直しとは、反省することか、どういうことか。良い目標はずっと掲げていく。
地域の中で、それぞれの団体が活動している現状で、十分ささえあっていると思われまます。難しいことばでりっぱな冊子を作っても、無関心な人を振り向かせるのは大変です。楽しめる行事や集いの中から、一緒に生活している地域を、大事にしていく気持ちがうまれるのでは。「横浜市緑区」は安心して暮らせる街だと思います。
5つの基本目標はとても良いと思います。それをどう活かすかにおいて今後の活動を期待しています。
東本郷地区は「みどりのわ・ささえ愛プラン」に掲げていることはほとんど手がけていると思います。今後、地区社協と通してもっと出来ることがあるか、今やっている事業をもっと充実していくにはどうすれば良いかを考えて行きたい。
現在、行われている福祉活動のネットワークを一つにし、緑区としての発信をしてほしい

<③情報に関すること>

プランの情報をどのようにして知ることができるのか。

<p>私たちは地区センターの募集で集まったメンバーから始まった団体です。その時に活動を続けようと思って私は色々な事を学びました。「みどりのわ・ささえ愛プラン」も今回初めて知ったように。もっと、こういう団体の作り方やどこでどういう活動、団体があるのか、みんなが知る事ができればいいなと思います。</p>
<p>「情報」について、夜間や休日の当直医がどこかわかるように毎月毎の当番表が欲しい。</p>
<p>テーマ別作業班(5分野)の交流内容や問題点とか発表可能の範囲でご教示ください。</p>
<p>名称が知っていましたが、実際の活動については知りません。5つの基本理念は最もだと思えます。そして、「一人ひとりができることから始めましょう」も良く理解できますが、参加するとかかりが難しいと思っています。</p>
<p>自治会、幹部。各地域の活動グループの幹部に対する情報交換を蜜にすること。</p>
<p>現在は、地域ケアプラザ、老人会等に行って楽しんで頂いておりますが、フラダンスの慰問を希望しているか、情報があまりありません。そのような情報も知りたいのでお願いいたします。</p>

<④内容に関すること>

<p>実施、実践のときに突入故、広く区民に徹底していく手立てを研究して行きたい。それには欲張らず、やさしく誰にでも理解できるプランであって欲しい。毎日が安心・安全な、とかく頭でっかちで、区民の上を素通りしてしまわないよう、間口を広げず、おだやかな人間関係の確立こそ大切ではないでしょうか。</p>
<p>自分の住む地域の活性化(いわゆるまちづくり)のためには、一人ひとりが何をできるかと、そのできる力をどのように発揮してもらうかが大切です。眠っている人が多いのです。住民の力が結集できるような「しかけ」、「しくみ」が大切だと思います。</p>
<p>このプランは何か、つかみどころがない感じで、いまひとつぴんとこない気がします。</p>
<p>基本目標に対して掲げられている小目標について、現在、どのような具体的な行動が行われているのかよくわかりません。(例えば基本目標2の小目標4を達成するに對してどの様にして実現するのか、されているのかといったこと)また、今まで推進された中での問題点はどんなことなのかもわかりませんので知りたいと思います。素晴らしい計画ですので、一人ひとりが参加できる具体的な行動目標まで掲げていただきたいと思えます。</p>
<p>5つの基本目標と15の小目標について、異はありませんが、その具体的推進結果が見えてきません。</p>
<p>「みどりのわ・ささえ愛プラン」実施内容について、スパンを拓けることよりも具体的に内容の充実を図ることが大切だと思います。</p>
<p>私も民生委員児童委員の一人として、この会議に参加させていただきました。プラン自体はよくまとまり、申し分ないと思えますが、実際に活動してみると、基本目標の2(人材、担い手)、3(機会、場)、4(情報)の不足を感じます。</p>

<⑤ボランティア>

<p>区内11地区で色々な面で差がありますが、すべて画一的に進められても、地区に合わない、既に済んでいる、そこまでにはまだステップが必要、などあります。私達はどの様な会合にも完全ボランティア、時には交通費持ち出しで参加しています。この辺を行政の方で理解し進めていただければ、もっと参加できる方が増すと思えます。</p>
<p>地区社協を中心とするボランティア活動に期待するところが大きい。活動内容が確実に強化されつつあると受けとめていますが、区社協及び行政の支援(人材・場)がさらに必要。</p>
<p>地区社協では標題の一環として、「ボランティア相談室」を立て上げ活動しておるが、拠点が無いままで2か年間近となるも活動の内容は充実をみない。拠点探しに行政のお力を拝借したく思っている。携帯電話に依る相談は、相談依頼者が敬遠する向きがある。霧が丘地域ケアプラザが誕生し、コミュニティハウスも同時開設をみるも、我々住民がいざ拠点にとっても(ボランティア相談室として)使用させて頂けない現実を何とか変えていかなければと考えるのですが、無理な計画の実施は発展の可能性が薄いと思う。</p>
<p>ボランティア活動の推奨の件では、良い事であるとともに、安易な面もあるように見えます。簡単に誰でもコーディネーターやボランティアができるようなイメージがあります。本来はもっとボランティアをする側、受ける側の意識を明確にし、メリット・デメリットもあることを認識して行うものと思えます。トラブルが起こる事も有ると思えます。そ</p>

う言った時の対処や相談できるシステム、または起こらないようなシステムが基盤にあると安心です。
ボランティアが競合している。自意識を抑え、調整して欲しい。ボランティアについて再教育が必要と思われる。

<⑥地域ケアプラザ>

とても良い計画でありがたく思います。ケアプラザを利用させていただき、感謝申し上げます。
このプランそのものはよく知らないが、鴨居地域ケアプラザに2回ほど慰問演奏に行ったことがあり、こういう活動を続けて行きたいと考えている。
活動しながら色々1日1日を大切に学び、現在勉強中です。地域ケアプラザの職員の方がすごく親切で有難く、もっともっと大勢の方に知っていただきたいと思っています。
具体的なことはよくわかっていませんが、サークル活動の為にケアプラザに出入りしていると、何かあったときに相談しやすいと思います。交流の場として広く使われると良いです。
各地区のケアプラザ等と地域が密接につながりを持ち、プランの実行に役立てたい。

<⑦こどもに関すること>

長津田公園において、ボール遊びが禁止となってしまいました。小学生が他の公園に流れてしまい、他の公園での子どもの人数が多すぎて逆に危険な状態です。赤ちゃんや幼稚園児の子供のための公園になってしまっています。小学生の遊び場が必要だと思えます。
子どもが安心して外に出ることが難しい世の中になってきました。特に小学生以下はまだまだ地域とのつながりが密な時で、地域の環境が支えてもらう面が多いと思います。多様な活動の企画と情報公開をお願いしたいです。
福祉に関しては、子供会としては関わりがないので、子供会も参加・協力できるようになれば良いと思う。
実績を創ることのみ考えずに、現在の地域を見て良いものを探し支援していくこと。例えば、少年野球やサッカーなど毎週日曜日に趣味とはいえ子供達を指導し、礼儀作法も教えている。1年に3万円も補助してあげれば喜ぶと思う。また、阿波踊りなども自分たちで笛、太鼓、鐘、三味線、衣装など揃え、他地区との交流もし、子供達にも教えている。「小さな子がいうことを聞かないときは上級生に教えさせる。そうすると言うことを聞くようになる。こういうことをやらせておけば大きくなって非行はしないと思う」という声を聞くと、おぎなりの学家地連より余程良い活動だと思う。

<⑧つながりに関すること>

それぞれの目標に分かれて大変良い計画だと思います。私は今、地域の食事会という範囲「つながり」のところで支え合いを行っています。これから、もっと他の目標にも詳しく取り組んでいかなければと思っています。
つながりの輪を広げる具体策が大変必要だと思います。具体策としては、①新しい人材を呼び込む方法が重要です。②今回の人材交流会、オトナの一期一会を進める中で、体験して行くことと受け入れを積極的に実行することだと思います。
目標1: 人柄、家柄の相違、各種役員の差別的言動なども影響し、なかなか難しい。挨拶運動(特に小中学校からの)が必要と思われる。
目標3: 世代間のつながりがなかなかできない。小中学生と老人との対話などが必要かも。

<⑨場に関すること>

地域の連携を図って、「みどりのわ・ささえ愛プラン」をもとに活動の場を広げたい。
当紙の基本目標Ⅰについて、地域の自治会を母体として、もっと細分化した型で、その組や班で、高齢の一人や障がいをもった方々への地域支援の確立を考えては、もし起きた時の救急災害にも役立ちますし、地域の方々とのつながりがより一層深まり、安心、安全の地域社会の構築が出来ると思う。民生委員との連携を、基本目標Ⅲの場所の提供について、一人住まいの方々がよく見られます。その活用方法を検討しては、Ⅰの解決

にもつながると思う。再考願いたい。
高齢者が楽しく過ごせる環境は必要です。日本より経済発展の遅れている国々でも老人が集まって楽しい時間を過ごしています。東南アジア等旅行していると公園や寺の集会室等で楽しそうにしている姿をみることができます。公的施設の開放等をもっと積極的に行って欲しいと思います。
身近な場所に、このような施設をもっと増やして、毎週でも身近などこかを利用できればありがたい。

<⑩振り返りに関すること>

プランの見直しに入るのは結構ですが、5年間の成果というものを十分に検証する必要があると思います。何が不足し、何が達成できたかを検証した上で、次に向けてのアクションプランを中心に検討することが重要だと考えます。
いつになったらこのプランの結果がでるのでしょうか。先の見えないことを何年もやっているような気がします。
プラン作成の過程で地区別の意見徴収があったり、地区の活動が紹介されたりしたことはよかったのですが、プランがより多くの人の参加につながったとは思えませんでした。それは、このプランのめざすものが言葉としてはきれいにまとまっても、具体的にどの課題を解決するか、自分とどう関係するのかわからないからだと思います。見直しではもっと困っている当事者(障がい者、障がい児の家族、高齢一人暮らしの方、難病の方など)の声を広く取材して、プランに反映させてほしいと思います。「ここが困っている」というものが見えると、人は動き出すものだ自分達の活動経験から感じています。

<⑪介護、外国人、地域、障がい>

残念だがあまりよく知らないです。高齢者は寝たきりとなり、介護保険の施設にかかる様になると老人クラブから脱退してしまうので、それらの方たちは自治会の扱いになってしまいます。したがってそういう人たちの福祉上の手助けが会としては難しくなり気の毒に思っています。そうなる前の予防活動には心がけてはいますけれど。
介護している人達を把握する事が出来ますか？私たちも知りたいです。仲間に入れてもらいたい。
地域に住む外国人の不安は、はかりしれないと思います。この様な状況に理解を頂いて、長津田ケアプラザでの活動をさせて頂いて、とてもうれしく感じています。
現在の「みどりのわ・ささえ愛プラン」には一切、外国人支援の考え、言葉が入っていません。現在(平成20年10月末)で緑区には64カ国、2,506人の外国人が住んでいます。これは緑区の人口の1.43%であり、ここ数年大幅に増加していますし、これからも増加するでしょう。外国人視点のプランが重要な一つです。
会議出席しましたが、あまりプラスになる新しい意見がなく、地域のかかわりの大切をわかりやすい言葉で示して欲しい。
福祉活動の5つの目標と運用はすばらしい構想だ。すでに地域において交流活動の大きなバックボーンとなっている。活動の場を提供されている私達も自ら享受して更なる福祉の趣旨を理解しながらお互いの生活をより楽しく健康的な町にと努めたいものです。
精神障がいを支援してください。
基本目標はそれぞれ良い方向性が出来ていると思いますが、これを区民の皆様に伝えていくことが大切だと思います。障がいを持つ人へのサポートの充実もお願いします。

<⑫支えあい、人材、相談、防災、防犯>

家族で障がいをもつ人、高齢者、子どもを支えるのが難しい時代になった今、地域でどうすれば支えあう関係づくりができるかを考える機会として、ありがたいと思います。が、住民への浸透は難しいです。
基本目標2「人材・担い手」を育てるという部分に重点をおくようにすべきと思います。
臨床心理士による専門的相談ができる場所を確保し、継続的な相談を実行できるようにすること。
防災関係で、住民の名簿が何よりの手がかりだと思います。
目標5:防犯パトロールをする人の意識に若干問題が見られる。個人として防犯上必要な対策を徹底させて欲しい。

いし、時に助成金も。

<⑬その他>

前記の内容をよりよいプランに反映していただけたらうれしいです。

基本目標1～5、素晴らしいことです。これらが実現できるよう、頑張っていたきたいし、協力のできることは微力ながらお手伝いしたいと思っています。

とても良い目標ですからこれからも実施をしていってください。協力していきたいと思っています。

このプランが確実に実行されればとてもいいプランだと思いますが、なかなか難しいのも現実だと思います。

私達、みんなが毎日楽しく過ごしていけるような区であってほしいと思います。

よく出来ていると思います。

「スクールゾーン対策協議会」への「語りべ」支援活動。「コミュニティスクール」への支援活動「語りべ」。PTAとのタイアップして活動する「語りべ」

いつ作ったのか知らなかった。

みどりのわ・ささえ愛プラン、解りやすく、大変良くまとまって申し分ないと思います。この基本目標の5つがどこまで出来るのか期待しています。

昨今、新しいものが先行で、昔の良い面、すばらしい部分等を今こそ見直す時期では。

福祉のすべてに言えることですが、常に支える人、対、支えられる人 の構図になっており、ある種の見苦しさを感ずります。やってあげる×やってもらう の関係をどうやったらぶちこわせるのかそれをいつも考えます。

立派なプランだと思います。

「みどりのわ・ささえ愛プラン」をもっと勉強して後、しっかりと行動してゆきたいと思っています。

「毎年度、計画に対する評価を実施」とありますが、18年度以降の結果を、ホームページで確認したい。それから設問の「見直し」をしたいと考えます。

活動場所の確保やボランティアさん探しにもう少し保健所や社協の方が協力してほしい。

26 福祉について、今後、緑区が優先して行うべき施策は何だと思えますか？ 〈問22〉

〈内訳〉 総計 151 件

① 福祉に関すること	23 件	⑥ バリアフリー	10 件	⑪ ボランティア	4 件
② 高齢者に関すること	20 件	⑦ 地域に関すること	10 件	⑫ 防災に関すること	4 件
③ 障がいに関すること	18 件	⑧ 場に関すること	7 件	⑬ 行政、医療、ケアプラザ	各3件
④ 子育てに関すること	11 件	⑨ 健康に関すること	7 件	⑭ スポーツ、企業、公園	各1件
⑤ 情報に関すること	11 件	⑩ 介護に関すること	6 件	⑮ その他	8 件

〈①福祉に関すること〉

<p>少子高齢化の時代にふさわしい、若い層の住民の養成、環境づくりをどうやって行くべきか、真剣に検討すべきだと思っている。弱者への思いやりの心構えをどう育むか。友愛・奉仕の精神を特に。</p>
<p>福祉について、地域のつながりの大切さについて自治会活動を通して具体的に示して欲しい。</p>
<p>ケアプラザの登録が認められ、積極的に動けるかと思って期待したが、行政自主事業と登録団体は切り離している様子を知り、がっかりした。ポスター掲示を認めていただけうれしかったが、それ以外認められないので残念で、従って、どうしてもメンバーの集まり、グループで部屋を貸してもらっている形になっている。もっと幅広いネットワークの利用・活用をすると良いのでは。ある意味、福祉全般が「かかわっている当事者だけが知っている」という閉鎖的な環境か、と思っている。</p>
<p>世代間のつながりと場作りを具体的に実施するのはいかがですか。</p>
<p>基本目標の5つが達成されれば、優先して行うべき施策などないようにも思われます。5つ基本目標、15の小目標をきめ細やかに推進していただきたいと思えます。</p>
<p>弱い立場の人(障がい児・者・老人(ひとり暮らし)ホームレス)に具体的にどのような支えあいができるか、話し合いの場を増やす、助け合いの大切さを共有できるようにしたい。</p>
<p>年配の方の長い人生経験をより多く学ぶべきところがあるのではないかと。年配、子供等の弱い者を援助、施策が出来る場所から始めるのが良いのではないかと。</p>
<p>「みどりのわ・ささえ愛プラン」は主として一人暮らしの高齢者や身障者に対するいろいろな手助けが主な目的のように思えますが、この点については、社協、民児協、自治会等に任せておいて良いのではないかと(適切な助成金を出すことは必要かと思えます)。</p>
<p>県や区はむしろもっと広い意味の福祉といえるような事項、すなわち生活困窮者、失業者等に対するセーフティネット、ゴミ、カラス対策、駐車違反、空き巣対策、病院問題、年金、特養建設、老健建設等につき、国とも相談しつつ、改善していくという点に力を入れるべきかと思えます。</p>
<p>具体的な施策は、要は特に老人が、経済的にも健康的にも安心して暮らしていける政策を優先的に計画実行に移していくことにつきると思えます。</p>
<p>現代社会の中で私も高齢者(老人会、友愛活動推進員)の一人として楽しく豊かに、安全に遇するために「こころ」の健康を考えるようになりました。高齢者に起こりやすい心の病気として、うつ病、認知症、アルコール依存病等の話を聞いてはおりますが、子ども達はもちろん高齢者に暖かい手を差し伸べる施策(友愛もそのひとつ、ベッドにいる人たち、ホームにいる人たちも含め)もっと考えていただきたい。</p>
<p>福祉施設には駐車場は福祉優先です、とか、福祉・障がい用トイレです、とか専用表示の駐車スペースが目立つ。福祉は優先と、今まで過保護の施策が当事者の心身の墮落に連なってきて、更に権利意識の経緯から現状と認識し、困った世の中を改革するため、発送を福祉は平等・平等に改め、先着順に駐車スペースを埋め、専用表示箇所は、当事者が来車の時点で退車を条件付きとし、満車時でも何台も空のままという現状は、どこの施設でも改善すべく、即実行してほしい。40周年記念イベントも良いが、当該施設の近傍が雑草ボウボウでは心が問われる。</p>
<p>少子高齢化社会の中での福祉について、国策があいまいの中で、今後どうなるのか、考えさせられます。①緑区</p>

<p>の中でも農業従事者の後継問題など優先すべきことと思います。②高齢者の一人住まいなど”助け合いの地域を作る”などがあります。③長期的に見て“歩きやすい、車椅子の通れる道路を”など緊急課題でしょう。</p>
<p>「緑区長と緑区の昔を語る会」では、時間が足りなくて、充分でなかったが、このつながりを契機として福祉についても見識のある高齢者の意見聴取の会合を考慮されてはいかがか。</p>
<p>企業や一般社会がもつ現代の競争社会の価値感(合理性、効率性)が社会の幸福ではありますが、個々人の幸福は多様であり、幅の広いものがあります。その選択肢を配慮できる行政が必要で、必ずしも優先付をしますと、多様性への対応ができなくなるのではと考えます。全体市民(区民)へは優先課題と目標施策実施を行い、福祉では個別多様サービスを期待しております。</p>
<p>老人が増える方向にあります。年をとっても元気に生活できる人を増やすために、足腰、気力、体力を育てる環境作りをお願いします。子供を預けて働きに出たい若いお母さん達が、保育園探しに大変な思いをしています。入れないで無認可保育園にと希望しても、そこも待ち状態、料金も給料の大半が保育園の支払いで消えていきます。出産する病院から始まり、小児科の病院、保育園と急いでの環境作りを希望します。</p>
<p>本来の福祉とは？</p>
<p>まず、何といっても必要なのはマンパワーです。何かアイデアをもっていても、それを実現するために必要な人手が足りません。ボランティアという言葉にも偽善的なおいを感じます。「一緒に集まって、一緒に楽しむ」福祉”という言葉はそこに使いたくないのが正直な気持ちです。</p>
<p>みどりのわ・ささえ愛プランの5つの基本目標が地につき、誰もが安心して暮らせる緑区にすべきだと思います。</p>
<p>中学、高校、或いはグループ活動等に自分達の福祉、その活動等を説明する機会があれば、貴重な社会勉強になると思います。広報、回覧等の伝達も重要な手段だが、学校の教室で或いはグループ集会場で直接自分達の福祉或いは行政現状を聞くのも大きな社会勉強になると思いますが。</p>
<p>具体的に、今、どこの部分が不足しているのか、わかっていません。手助けの必要な人たちへ細やかなサポートを行き渡らせるためには、地域住民への教育が必要だと思います。地域の人たちが地域へ目を向け、自分たちの税金をサポートのために使ってほしいと、目覚めることが結果的には大きなサポートの力となって世代を超えた助け合いを始められるのではないかと考えています。どのような形でもよいと思いますが、一生、学び続けられるよう成長していこうという気持ちになってもらえるような活動が第一歩になるとも思います。</p>
<p>物やお金、世話を担う人材も必要と思いますが、人生を前向きに生きる心のケアの援助</p>
<p>地域全体でのケア体制をつくること。</p>

<②高齢者に関すること>

<p>高齢者対策</p>
<p>お年寄りにやさしい福祉を。</p>
<p>高齢者支援(切捨て方向ではないかな)</p>
<p>高齢者が男女共に、より高寿命化し、年金生活者は老後の収入に対し出費が増加し、余裕のないのが実情です。ささえ愛プランは益々必要さを増してきます。行政側の方々はムダや緊急性の低い計画は省いて、余力を生む方向にギヤ・チェンジして高齢者層の健康維持や病氣治療・福祉の方面に財政の余力を配分していただきたいと強く要望する次第であります。</p>
<p>高齢者対策も重点のひとつではないかと考えています。</p>
<p>高齢化に対しての施策を優先して欲しい。</p>
<p>高齢者の方が多くなり介護する方、される方も高齢でいる家庭が多くなっているように思います。自分達もいつかは、そのようになりますが、私自身もどかのようにすることが最良なのかは分かりませんが「年金も減らされて大変」という声を聞きますと、もう少し高齢者の方々も生活しやすく、また、子育て中の私たちにももっと生活が楽になるような手立てをしていただきたいと思います。</p>
<p>高齢者(男女共)の健康増進と福祉の充実を計っていく。</p>
<p>独居の高齢者も増加すると思います。孤独で引きこもり等の予防対策が必要だと思います。</p>

孤独死を出さないよう皆でどうしたらよいか考えたい。民生委員の方々にもよろしくお願ひしたい。
「認知症講演会」の話が参考になったという人が多い。頻繁なるこの種の活動を期待する。
ひとり住まい高齢者の支援
高齢者が一人暮らしになっても安心して生活できるまち。高齢者が集える場所。不自由な時、ちょっと手伝ってもらえるサービス等が充実していくと良いと思います。
一人住まい高齢者の支援
「敬老の日」のお祝いについて(老人福祉法では老人の日。それと後1週間は老人週間)
国民の祝日法: 多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う。
老人福祉法: 国及び地方公共団体は老人週間において、老人の団体その他の者によって、その主旨にふさわしい行動が実施されるよう奨励しなければならない。
老人会は老人週間に全国一斉に掃除等を行っている。現在、老人の日には自治会が申告させてその人に若干のものを与え、社協から挨拶状と祝品(申告した人に対して)が配布されている。それも途中でなくなることもある。(民生委員が配布するらしい。)このような実情であるから、祝い方について指導していただきたい。
私たちの活動においても、言えることですが、たとえば、本当に必要なお年寄りにはお弁当が届けられなかったり(配食ではないので当然ではあるけれど)、一人暮らしの人が中心なので、高齢者の人は、年に2回くらいしかおよびできなかったりするけれど、福祉行政においても、机の上でパソコンでの仕事より、歩いて、区民がどのようなことで困っているか把握してほしい。
高齢者のための福祉が必要と思われれます。

<③障がいに関すること>

高齢者だけでなく、障がい児にも目を向けていただきたいです。例えば、放課後の居場所作り。引きこもらないよう、アシストしてほしいです。障がい児分野を聖域(実際、行政の方に言われました。要するに「親がいるから関わりにくい」と。)だと思わないでほしいです。
大人の障がい者の総合施設(作業所、宿泊)
障がい児者への長期計画による自立のできる生活体制の急務
精神障がいに関する情報。
身障者用駐車場の確保と交流
障がい児・者を支援すること。
心の病気を持っている方が増えています。何か気軽に相談できるシステム・サポートがあるように願っています。
障がいのある方のサービス、一割負担をなくしてほしい。
精神的な障がい等で子育てを思うように出来ない家庭には、行政が逃げないで手助けしてほしい。
障がい者、障がい児の自立支援
障がい者、障がい児の自立支援
障がい児者の余暇支援及びその継続的な担い手づくり。自立につながるよう、単なる遊びに終わってないでしょうか。積極的に地域の行事への参加を促し、共生を地域の人々に意識させることは大切ではないでしょうか。四季の森まつり、活動支援センターまつり等に活動発表の場を設ける。
障がいのある子供たちの利用できる居場所を増やしてほしいです。
障がい児と普通児の間にいるグレーの子供が多いのでその子達のケアをすることに力を入れてほしいです。
障がい者施設の見直しと親が安心して将来に向けて預けられるものを増やしてほしい。
障がい児・者への施策を幅広く扱ってほしい。余暇支援事業を充実してほしい。
障がい児・者や虚弱高齢者が参加しやすいコンサートやその他のイベント企画: 学校区単位程度の小規模で、歩いていける範囲を対象に。スタッフは地元市民や学生に呼びかける。ふれあうことが支えあうことにつながる。緑区にはLD教室、緑養護、新治養護などがあり、当レクタスに通ってくる子どもたちへも協力的だ。(バスで十日市場や青葉台から霧が丘高校前利用)。しかし、実際の小・中学校ではなかなか個性を尊重されず、適応に苦慮

している児童・生徒が多い。保護者や教師の悩みを受け止める場所が少ない。高齢者に関しては行きとどいてい
ると思う。

<④子育てに関すること>

子育てへの支援。子育てママ(パパ)のための講座(仲間作りにとても有効)
子供への支援です。教育者に対するもの等
子育て支援の充実(母親指導の中に人としての道、本当に我が子の成長を願う気持ちの高揚、とかく母親の憩 いの場みたいな軽さがとても気になる一人です。)父親指導も大切ではないか。兄弟、姉妹の結びつきが少子化 のため育たないことが問題なので、行政面での支援、イギリスのように子どものもの、本などの税が安いような方 策も一案かと思えます。
子育て支援
出産にお金がかかるのは確かですが、一時金よりも育児に対して補助金を出してほしい。保育所の充実 保育所の増設又は定員増。3歳未満クラスではなかなか認可保育園に入ることができない。
若い人が安心して子供を産める環境づくりが必要です。企業も含めた形の施策をしていただけたらと思います。
小さい子供がいるので子育てに関して、利用しやすい一時保育や遊び場などが増えてくれればと思う。
子育て中のお母さん達に地域とつながる何かがあればよいと思います。
老人の方も大切ですが、この先、世の中を背負っていく子供たちの生活しやすい環境作りを考えてほしいです。 緑区は高齢者が多いせいか、子供に対する活動が少なく思います。

<⑤情報に関すること>

私は「福祉」というのが、障がい、お年寄りの方など限定されているものだと思っていました。今回の活動を通じ て、地域の方との交流も福祉の一つだということを知ったのです。私は、色々な年齢の方、色々な地域の方と知 りあえてとてもよかったと思ったので、もっと積極的に情報を知らせてほしいと思います。
福祉の施策に対する当クラブで何か出来るか検討した事が、まったく無かったので、具体策を書くことが出来ま せん。しかし、当クラブとして、保護を必要とする児童、母子家庭、高齢者、身障者等に対してどの様な援護、支 援がどの範囲で協力出来るのかのツールがあれば(又は検討資料が)もう少し活動に関心がもてたと思います。
情報として広報を活用していますが、高齢者や弱視の方向けにもっと大きな文字の広報が別版であればうれし いので、そういった面でもわかりやすく活用しやすいものと考えていただければありがたいです。
介護施設、病院の内容情報を HP 等で見やすくしてほしい。
区民が孤立せず地域に進んで参加できるよう、情報の充実や団体に対しての広報の手伝いも積極的に取り組ん でいただけるとありがたい。活動の中で、宣伝が充実すれば来てくださる方も増えると実感しています。
ケアプラザとか地区センターがあることも知らない方が多くて、どのような活動をしているのとか、よく聞くことがあ ります。年寄りになると人任せで自分から進んで知ることも少なく、残念に思います。大勢の方に活動内容とか、 他のことを具体的に広報紙にも教えていただきたいと思います。
情報については、緑区広報誌の折込別紙等でボランティア・趣味や健康増進の会など、くまなく網羅して(どんな 小さな会でも)、時間、場所、内容等を全世帯に知らせるものひとつの方法かと思えます。その中から会に入って みようという人たちが5~10%でてくれば、福祉の輪はさらに広がることでしょう。
各種計画に対し、繰り返しPRをする。
知的障がいを持つ子供や成人及び保護者向けの地域で暮らすための情報の入手方法が不足がちであると思 います。気楽に情報交換できる場が必要だと思えます。既存の団体の紹介などでも良いと思えます。
施策の優先順位の前に、わかりやすい後方が必要かと思えます。区だよりは最大の武器です。ページを開きたく なるような紙面作りを期待します。限られた紙面でも、広報の部分と企画広告の部分を区切ることで、遊びのある 豊かな紙面ができると考えます。区民参加の優れた施策はすでに数多くありました。しかし、その企画が区民に 広く届いていたか疑問です。それは HP にも。(話題(問題)になるくらいが調度いい。)

情報のバリアフリー

<⑥バリアフリー>

区役所、公会堂のバリアフリー化。区役所までの最寄駅からの経路のバリアフリー化。

平日の昼は、保育園の散歩の子ども達や障がいを持つ方たち、杖をついて一人で病院に通う高齢者の方々に会いますが、いずれも道路が狭く危険な場所が多いです。都橋の工事遅いため、道路を渡るのにも苦労します。安全な道路の確保や、高齢者の方々が一人で無理をせずとも支障なく日常生活ができるようなサポートがあればと思います。(介護保険制度とは別に)

特に東本郷地区は道路が悪い。歩道がない所が多いので危ない。最低限、歩道は確保してほしい。以前、杖をついたお年寄りが歩道のない道路で転び危なかった。本当に何とかしてほしいです。

駅前、公共施設のバリアフリー徹底

車椅子の方が車椅子で行動しやすい道路

歩道に駐車する自転車、自動車が多い。

弱者が暮らしやすい環境づくりを最優先で行ってください。長津田駅南口のエスカレーター化を急いで行ってください。やっとエレベーター工事が始まりましたが進捗が遅れています。

ベビーカーや車いすでの通行がしやすいように一日でも早くJR長津田駅にエレベーターを設置してほしいです。

中山駅から区役所周辺の道路(歩道)の拡張・整備

障がい者やお年寄り、子供が暮らしやすい街にするために、まずは、地区センターやケアプラザ、区役所、その一つ一つの場所へ安全に自立して行くことができるように行政に考えてほしいです。

<⑦地域に関する事>

地域社会で生きる為の意識の向上。住民意識が低いのに災害時の問題、裁判員制度、子育て等々、色々と施策しても実りが期待できません。

催事については、各自治会が中心となってやっていますが、区として、あるべき姿の行事を提案してはどうか。色々のイベントを通じてみますと、利益優先の所があります。真の「ボランティア」に徹して、地域のために最適にできる価格設定を指針してはどうか。あるイベントで、約40人位の人が携わって一人当たり3,000円位の謝礼金を支払っていますが、自前に指導があれば、この様な結果はないと思う。利用がもっと愉しく多くの物にかかわれるよう思う。

もう少し、地域担当職員を巡回させて頂きたいです。相談したくとも相談することが出来ません。

我が家の近所でも浮浪者の方をみる場合があります。寒い中、ベンチでねている姿をみかけたりすると、子ども一人で外に出すことに少々不安を感じると共に、何か支援ができないかと考えたりします。生活保護を受ける方などに手厚い補助をしてほしいと思います。

地域ケアプラザの行事の内容を見ると、趣味やお楽しみの取り組みがほとんど。利用者数もほどほどある様子だが。元気な中高年の人々の力を地域福祉にも注入してほしいのだが。

自治会、市民活動団体、学校等が行政と連携してネットワークを活かし、市民力が発揮できるようにすること。

河川敷活動に利用しやすくして欲しい。

福祉について行動するための拠点がほしいです。5か年計画で、その後は自立するというプラン(ボランティア相談室の件)と聞いていますが、諸般の事情が優先されると困難です。事務所、当座の人のバイト料、その他。

近隣住民との助け合い

地域で行っている小さな事業でも、見守り情報を提供していただき、高齢者、障がい者の住みよい地域に出てもらいたい。

<⑧場に関する事>

今のグループは4年前に地区センターが行った初心者向け講座が原点になっています。講座終了後、継続してきたわけです。場をつくることをやるだけで十分ではないでしょうか。その後は意志のある人が集まって続けられると思います。それと環境です。室が無くて困ったこともありました。
たくさんサークルがあります。同じ日、時間が重なります。場所(活動する所)月に1回でも決まった場所で安心して踊る所がほしいです。何日に申し込む、またはずれ。違った所を探して申し込む。申込日が来るのを忘れないよう心配です。
具体策としては、団塊の世代の方々を呼び込む場作り(まず調査から)、活動、参加できるような説明会として(場所設定をハーモニーみどりにて)、各ボランティア活動団体が日程を作り、出来る団体から順次開催しては行かれますか。
地域の人達との交流の場を多く持つ。
若い世代の居場所がない。教員・警察など定年退職者などが若者の先頭に立って一緒に考え行動できるようなことをやってみては。例えば区内のイベントのヘルプ、高齢者・障がい者との交流
高齢者の皆さんがいつまでも元気でいきいきと活動的に過ごせるよう、元気なうちから健康づくりから始まり介護予防を積極的に支援をお願いしたいです。緑区には横浜市高齢者体操指導者が何人もいますが健康体操指導をしたくとも場所の確保ができないです。(公の施設が利用する場合、抽選又は申し込み制で他のグループが希望日を確保してしまった場合)他の区ではくが場所(運動)の確保がなされて健康づくりにタッチしている。緑区でも場所取り参加でなく場所確保いただいて健康づくりに役に立てるシステムになると有りがたいです。
人が会う機会を出来るだけ多く創ることが福祉の第一歩だと思う。盆踊りや夏祭りが出来ない自治会は自治会ではないと思っている。役員は大変だがこれほど地区内の実情が見えてくる行事はないと思う。それには公園、校庭など出来るだけ地域に提供して大人が集う場所を考えること。子供が遊ぶ場所だけでなく元気な大人が自由に遊べる場所づくりを考えること。2、3自治会単位に1箇所のゲートボール場を作ることくらい考えるべきである。作物を作っていない土地も多い。努力が足りないと思う。

<⑨健康に関する事>

高齢化の進む中で、若い人に迷惑をかけないで生きていくには、各人が自分のことを自分でできるような健康を作ること。それには病院のベッドを増やすより、心身共にきたえる場所を作ってほしい。
「健康」(心身)につきと思う。可能な限り個人負担の適正化を図りつつ実行していくことが大切。
高齢化対策で特に医療費の削減は、活動に参加することで、健康づくりの維持促進になる。1,000円の治療よりも1円の予防になる。
今、私たちが行っている健康づくりをぜひ(高齢社会に)。
高齢者の健康づくりのため、朝、公園で体操をするようにしたらよいと思います。中国の太極拳のように。
「四季の森公園」にちて、幼少者の健康づくりについて密度の濃い利用方法を考慮。
老人の健康相談と家庭訪問

<⑩介護に関する事>

老人の介護状況の充実
区の方では、介護している人達のなやみ事はどの様に聞いておりますか？私達介護者は共通のなやみが多くあり、みんなで話し合っ各自経験によって色々困難な事も解決しております。ぜひ区としても会に行くように指導してください。(仲間になってもらいたい)
高齢社会に相応しい、予防(介護含む)にもっと力を注いでも良いのではないかと。例:資格を持たれた体操リーダーの方たちに協力頂いて、出張による介護予防運動等
介護の仕事に従事しておられる方の給料をアップしてあげて、人材不足にならないようにして欲しいです。
ケアマネジャーさんの数を増やすこと。
老人ホーム等施設になかなか入れない現状です。希望する施設に入れることができればよいなと思います。

<⑪ボランティア>

イベントボランティアを作り、どんな人たちも進んで参加できるようにすることだと思う。特に長津田には何もないように思う。
地域福祉の活性化への手助け(援助、指導)。高齢化が増す中で、行政の力のみには依存することには無理が生じてくると思うので、地域の「ささえあい」の輪を大きく広げていくことが大切である。そのための一歩として(老若男女の)ボランティアの育成に力を注いで頂きたい。
ボランティア育成に住民が関心持てるような妙案を考えてみましょう。
福祉事業やボランティアに参加する人の育成と継続への支援:資格取得や研修講座を身近な場所で開催し、時間や交通費の負担なく大勢が参加できるようにする。呼びかけの対象を学校や市民活動支援センター等に広げる。

<⑫防災に関すること>

災害時の避難など不安な事が多いので、自治会と障がい者、高齢者一人一人が、その人と結ばれ、避難時の確認をするか、具体的な人と人との結びつきをしてほしい。(防災訓練に参加するにも、支援者一人では、参加が難しく、実情にそわないと考える。一人暮らしやお年寄り世帯も同様だと感じるため。)
地震がさわがれている昨今、地域での対応策等を具体的に。支援が必要な人の情報の把握(これは町会で調査がありました)
災害時の地域で対応できる事の範囲。支援が必要な人の情報。
災害時における救援体制を小規模ごとに創り上げること。同時に一人暮らし高齢者や赤ちゃんのいる家庭を地域で共有する。全て個人情報につながるため、行政から上記課題を解決するための対策を打ち出すこと。(秘密主義では解決できない。)

<⑬行政、医療、地域ケアプラザ>

福祉とは誰がやるのでしょうか。仲間が友愛活動として助け合うことですか？政治が行政が根本から動かないと友愛活動も進行しない。行政が末端の人々の中に入ってきて、どんな不幸な人がいるのか実体を掴んで欲しい。まず、どういった不幸な人が多いのかを掴んで、実体に適した対策を建ててもらいたい。民生委員の活動にも、社協の活動にも限界がある。結局、上滑りして本当に福祉になっているのかどうか疑わしい。実情を正しく聞いてください。媒体である各種団体に任せると、援助を受けているので区が喜ぶような返事しかしません。
社協、地域ケアプラザ、保健センターが一つとなり地域の方かそれぞれの主催する会に出席するのではなく、まとまった団体の中で計画し、地域へ発して欲しい。計画がバラバラですと、出席する地域の人々は、どれに出席してよいか迷うし、この前は出席したのに、また、同じような内容で主催が違うから出席しないといけなく、と迷うことが多い。
区役所に向いたり、電話で問い合わせたりした時、係にまわしますと言われるが、こちらが知りたい情報・答えが得られなかったり、お役人的(高飛車)な受け答えがまだまだ多くあり、いやな気持ちにさせられることが多い。まず、職員の方々の意識をかえ、縦だけでなく横の情報をしっかり共有し、直接、自分達の部署ではなくても、ある程度は答えられるような仕組みを作ることは出来ないのではないのでしょうか。職員の方々は公僕であるという意識をしっかりと持ってほしいと思います。
災害などへの対応。地域で生活をしていくためには医療の充実も必要だと思う。わざわざ障がい者専用の病院に行くこともなく生活している地域での医療があれば安心。
医療面などは、医師会との連携のもとでもう少し積極的な施策を打ち出してほしい。民に任せて施策なしという感じがする。高齢者施策は認知症対応など国の、市の上から下りてくる方向で動くだけでなく、地域の中から必要性の高い施策を検討し具体化できるシステムをつくっていく必要を感じる。
病気になる前に笑顔で行ける病院づくり。無料健康相談を気軽に受けられるような体制・病院のネットワークをつくり。病ではなく、来病段階で、兆候を感じた段階での確な予防処置に導く。これにより罹病率を下げ、医療費、

医療保険・介護保険給付費の増加防止・低減を図ること。区民一人ひとりが年に5～6回の健康相談を無料で受けられるようにするには、何をどうすれば良いかと考えることが必要。
地域ケアプラザの運営に支援策を更に厚くして欲しい。
各地区老人クラブ連合会(その傘下老人クラブ)と地域ケアプラザがより一層、交流を深めて各地区に即した高齢者の福祉を考えてゆく必要があります。
地域ケアプラザの未設置地区への誘致計画を決め、実現を図っていく。

<⑭スポーツ、企業、公園>

区全地域にまたがり、年代別、性別、年齢別等のリレーマラソン大会等を実施してみても、また、県立四季の森を活用したオリエンテーションのトレッキング大会を考えてみては。
区民全体が安定した生活ができるように企業の誘致
子供の遊び場(大きな公園)を長津田駅付近に作ってほしいです。

<⑮その他>

福祉に関しては「ひとりよがりの権利」を主張するものではないということを地域住民に知らせるべきです。行政ができるのは最低限のレベルをいうことを知らせ、過大な期待を持たせないようにすべきです。増税反対で高福祉は実現できないことを知らせるべきです。
現在、人工透析中、今は元気でおりますが、行く末が心配です。
もっと暖かい心のかよう支援が必要に思います。
中山商店街に障がいのある人達の働くパン屋をつくる予定。区内のことなので様々なサポートをしてほしい。
老人福祉、老人に対する思いやり。今、鴨居六丁目の住民が指定された国政選挙等の投票所は遠隔地に存し、しかも昇り坂で20分～30分を要する。これでは老人にとって徒歩で赴くことは到底できない。もし老人福祉の心が多少でもあるなら指定投票所の位置を見直すべきである。
世の中は少子高齢化が進んでいますが、生涯をいかに健康で暮らすかが大変重要だと思います。区では生涯学習活動を含めまして、種々の取組みはされていますが、身近なところで健康づくりや生涯づくりができるハード面の強化をお願いしたいと思います。
安心して安全に外出することを考えると小地域でコミュニティバスを走らせてほしい。
ハーモニーみどりの前にバス停があるようですが、なぜバスの運行がないのか。利用者の中には高齢者・障がい者も多くおります。せめて中山駅からシャトルバスでも良いから検討して欲しい。

27 その他、緑区における福祉の取り組みについてのご意見や、今後、行政や地域が取り組むべき新しい施策等のご提案がありましたら、ご自由にお書きください。〈問23〉

長津田北口開発において、体育館などを入れてもらえたら良いと思います。
長津田地区に半官半民でよいから、カウンセリング、心の相談室を開く。計画されている市の建物にその施設を準備できるといいですね。(因みに、青葉区恩田町には私設ではありますが、カウンセリングハウスがあります。)長津田地域ケアプラザの会場をお借りして、活動を続けることができます。印刷機、気持ちのよい所員の方の対応に大変助けられました。感謝申し上げます。
子育てが一段落した女性向けの講座があると、地域の方々と広く交流が出来て良いと思います。青葉区で行っている「輝く自分になるための話し合い学習」のようなものが、緑区でも行えると良いです。
ぜひ、障がいの人たちが心豊かに生活するために余暇活動に取り組んでほしい。(社会人)なかなか自分の時間を好きなように過ごすのは苦手のため、時間をもてあましてしまう気がします。
地域に対して、誰でも共有できる情報提供の場ときめの細かい環境整備をもっと積極的に展開してもらいたい。基本目標Ⅰ～Ⅳまでも再検討、再チェックして、どうあるべき姿が、細分化した地域づくりになってもらいたい。行政の方々がもっと地域の中に入ってきて、地域単位で、今何が必要か、何が求められているか把握し、傾向と対策と、最適な実施をしてもらいたい。自治会等の枠を超えて、地域の方々と新しい組織づくりを展開してはどうか。「テーマ別」の人材・担い手の再活用し、現在の自治会と地域の為に共有し、協働できることが良いと考えます。
各団体がクロスオーバーして問題を考える場づくりを積極的に後援してほしい。自治会、民生委員、各福祉施設、事業所など、テーマごとの集まりを「～福祉大会」の様なシンポジウムができるといいのと思う。
小中学校に高齢者の知識を導入すべき。例)スポーツ、歴史、福祉等
自立支援法、成年後見制度 etc、どんどん変更がありそうなので、障がい者支援担当、社協、ケアプラザ、地域活動ホームあおぞら等、区民が気軽に相談できる場が複数あると安心です。
自治会に率先して取り組む組織作りが必要だ。テレビ等見ても多くの地方で伝統的な行事がある。私は伊勢原の祭り、箱根神社の大祭に、また、新宿の法身寺等の行事に虚無僧姿で尺八献奏に参加している。わが地区でも何かを立ち上げるべきと思う。
行政の福祉を担当する幹部、区社協の幹部の顔が見えることが望ましい。私どもの周囲では、区老連の諸会合、地区社協の会合の場で、等。
今のままでよいが、心をこめて取り組んでいただきたい。
障がい者の働く場が少ないように思える。作業所や活動ホームに通っている人の中にも、支援者が居ることによって、一般就労可能な人も多いと思うので、場の提供を増やしてもらえればと思う。
私は、色々な事を学びたいと思ったのですが、子供がいたのでなかなか参加することができませんでした。子供と一緒に参加するのも楽しいのですが、子供と離れてなにかに参加できるというのがあれば、子育てのストレスからの開放、世代の異なる人からの色々なアドバイス等、地域の方との交流、といい事ばかりなのだと思います。気軽に、そして安心して、子供をあずけられて、子供の事を忘れて学べる場所を作ってほしいと思います。
高齢者だけでなく、障がい児にも目を向けていただきたいです。例えば、放課後の居場所作り。引きこもらないよう、アシストしてほしいです。障がい児分野を聖域(実際、行政の方に言われました。要するに「親がいるから関わりにくい」と。)だと思わないでほしいです。
自分自身に介護が必要になってはじめて介護制度を知るという人が多いと思います。私も71才の前期高齢者ですが身にふりかかっているため人ごとのように感じてしまいます傾向にあります。が、介護支援、自立予防には前向きに努力をしていますし、ハーモニー祭りに地域での開催ごとに参加をして多くの情報も得ています。町会の回覧等で呼びかけの強化が必要だと思います。

<p>介護保険を使用しない高齢の人々のためのデイサロン等、地域住民で開催していますが、今後の発展と拡大のためにご指導をお願いします。(現在進行中。現在は月2回午前のみ)</p> <p>子育てしながら働く若い母親のための託児所(保育所に預かってもらえない人のため)地域に設置したいと思っています。(空き店舗や空室等借りて。)行政のご指導をお願いしたいと思います。</p> <p>(軽症知的)障がいを持つ人々の交流の場をつくって行きたい。霧が丘地域福祉施設はそのために利用されていない様子だが。</p> <p>福祉各論が机上の空論に終わらないように、小さな事から実施してゆきたいと思います。格好つけずに！</p>
<p>平和でおだやかな中に区として一本の太い柱があるといいなあ、それがどんなに小さなものでも皆が等しくとりこめる優しく続けられるものが“ど〜んと”欲しいといつも思っています。きれいな町、仲良しの町、安全な町、差別のない町、あいさつの出来る町、助け合う町 etc</p>
<p>新しいものを求めるよりも、現在の施策が有効か無効かを検証して、無駄を省き、重点化すべきです。欲を言って幅を広げればいいというものではありません。</p>
<p>緑区社協、地区センター、ケアプラザ、市民活動支援センターの講座、事業のネットワークの協力強化により、色々の支援を必要とする人の支援の輪を広げること。</p>
<p>文化的な活動を盛んにして、誰もが豊かな心で暮らせるようにして欲しいです。</p>
<p>今のところ具体的な意見を持つに至っていません。ただし、福祉協議会の真剣な活動、それへのご支援については重要なことと敬服しております。できる範囲ですが、ご協力申し上げます。</p>
<p>前問の意見をお考えください。長生きしながら人間らしく、何か他の役に立ちながら生活して、生きがいを感じたいと思っています。そういう人たちの体験が役立てる様な機会を与えてくださる様な施策を検討して実施していただければ幸いです。区内各地区センターやケアプラザ、社協会議室等を使った講演会・講習会・体験会・勉強会・演芸会・研修会等(メタボ対策、認知症予防、生活習慣病予防、地球温暖化対策、防災・防犯、交通安全等を折りまぜて)を開催して下さるようお願いいたします。</p>
<p>今後ともケアプラザ、地区センターなどの場所での前記の主旨に沿う講演・講習・研修など、継続して開催して下さい。</p>
<p>現在、市民活動支援センターでいろいろの情報を得ているが、区民にこの施設の存在を知っている人が少ない。もっとPRすべき。定年等で家庭に入った中高年齢者を参加できるサークル活動を積極的に推進してほしい。</p>
<p>大きな福祉施設もあり、いいと思います。</p>
<p>福祉活動と医療機関との連携がもう少しとれるといいのですが。有償のボランティアはありえませんか。大学が近くにあるのですから、共通するところで連携した活動ができるとうれいいます。</p>
<p>高齢者や子ども達が自由に安全に過ごせる施設が住まいの側にあると良いと思います。</p>
<p>我々が話をしに行こうとすると、拒否される。それは日常から孤独な生活をしている人は、部屋の中が乱雑に散らかっているから、それをその都度整理し、掃除をする必要がある。それが面倒だから来てもらわなくてもよいと言う。助けてはもらいたいが、そんな哀れな気持ちで生活している。話し合いはしたいが、そんな面倒な事態が発生する。みじめな情景を見られたくない。こういう人達は、そうすれば助けられますか。電話番号を知られることを拒否します。食事会とか誕生会とか、外部の楽しみには参加する。避難訓練もその時々そんな孤独な存在を掴む必要がある。孤独でも夫婦2人でも高齢になると家事を十分に自身でやれなくなる。</p>
<p>将棋、囲碁、健康麻雀、チェス、コントラクトブリッジ等の室内ゲームはボケ防止に良いし、人とのつながりが出来、孤独な老人を減らす効果は大だと思ひます。こういうことが無料でいつでも自由に出来る交流広場があればいいですね。そういう広場でのお手伝いボランティアはできると思ひます。</p>
<p>「今できることだけをやっていれば良い」と考えるのではなく、「何をどこまでやるのが必要なのか≡到達目標」をまず設定してそれに近づくための施策を考え実行すること。具体的な事例としては介護保険料は個人負担を増すのではなく、むしろ軽減しながらサービス品質を向上するよう考えるべきである。区民のQOLをどう高めるのが重要。福祉保健課は「あれもやっている。これをやっている。」という前に、区民サービスの品質をどのように測定し、評価し、高めるための工夫をしているかを明らかにすべき。経営品質やISOを学ぶ必要あり。</p>

<p>高齢者が安心して過ごせる区にすべきと思います。環境づくりには安心して通える道路の整備も必要です。歩道の確保、踏切の撤去等をやらないと福祉とは言えません。総合的な取り組みをお願いします。</p>
<p>側溝のフタの金属できていて網目を細かいものにして欲しい。ベビーカーの車輪がはまってしまい、ベビーカーごと転倒の恐れがある。特に狭い道等では危険です。</p>
<p>会員の中より代表者を選出、短期間交替、とても良い事だと思います。昔、事務職、現在は全く人のお世話が出来ない、そのようなことが多いので、若さを取り戻すため、順番に役を受け、前進することを特に進めて行ってほしいです。</p>
<p>経済、特に区内、企業の経営難からリストラが増加することが考えられます。不況から派生する諸問題の中でホームレス対策や景気浮揚の対策、治安問題など。 みどりのわ・ささえ愛プランの中に上記の不況対策が新たに考えられないといけないと思います。</p>
<p>緑区内全域での福祉への取組みを現在ある、小・中学校の総合学習の一部として取り組めればと思います。具体的には、①車椅子の取り扱い方について、②小・中学生が自ら車椅子を体験し、その目線を感じ取る。このような福祉教育・体験した子ども達が成長したとき(ともに助け合い、安全で、バリアフリーへの社会)を具現化するものと思われま。今から大切な将来への取り組みと思います。</p>
<p>地域の人たちがぶらりと気軽に立寄る場所が欲しい。そこには、生活や健康や趣味だどの有益な情報が沢山あり、また、不特定多数の人を対象とした趣味や健康増進の体験コーナーがいくつかある(日替わりで良い)。そういうタイトでないサロンの様な場が理想的である。緑スポーツセンター、地域ケアプラザ、地区センター、市民活動支援センターと、似たような施設があるが、もっとリラックスした憩いの場所がこれからの高齢者にとって必要だと思います。)</p>
<p>子ども達と老人が手を取り合い、後世に継げて行くいろんな行事を増やしたいと思う。</p>
<p>新しいものに興味、関心が持たれやすいけれど、自然から学ぶ、そこから新しい方向にむけてできること、住民の皆様と共に進めたらと思います。</p>
<p>各種計画に対し繰り返しPRをする。</p>
<p>赤ちゃん事業について、市全体の事業ですが、4か月検診がある中、どのくらいまで成果があるのか疑問である。役職でないものの訪問に対する相手の気持ち、訪問する前の段階でしっかりと主旨を先方に伝えて欲しいと思う。</p>
<p>行政による環境負荷の低減施策が、めぐり回って福祉が向上すると思います。</p>
<p>基本目標1～5までを再度見直してください。</p>
<p>緑区が催したはまちゃん体操のリーダー研修に参加して、グループに持ち帰っています。誰もが親しみやすくお互いに身体を動かしていけるものがあると解ってとても良かった。緑区民そして横浜市民が共通して(ラジオ体操のように)行えることに意義があると思う。他にも楽しめるものがあるとい。(歌とか、作りもの)</p>
<p>現在養護学校へ入学を希望する子供が増加しています。希望する教育の場へ入ることが出来るようになることを望んでいます。障がいを持つ子供や成人の人たちの余暇の場所が身近にあるようになることを望んでいます。親亡き後、障がい者がどのように暮らしていけるのか、将来への展望が知りたいです。</p>
<p>具体的な細かい点はいろいろあると思いますが、上記で触れたように基本的には、安心して老後を送れる政策を行っていただきたいと思います。</p>
<p>会館やケアプラザを利用させていただいております。「〇〇な楽しみ方がいっぱいありますよ」というような情報が沢山ほしい。福祉の一つとして老人会も友愛活動も回数多くやりたいと考えております。活動奨励金も、もう少し増額の方に考慮をお願いいたします。</p>
<p>高齢者が外出しようとするとき、現在はバス券等発行されていますが、バス停に行くことが難しい(足が弱って歩けない)人には全く利用出来ません。タクシー券は障がい手帳をもっている方のみ発行されているようですが、高齢者で希望する方にはタクシー券の発行は難しいでしょうか。</p>
<p>一般の区民にも、豊かな気持ちで生活できる余裕というか、そういうものを希望します。</p>
<p>できるだけ多く活動できるよう、会場を増やしてほしい。</p>

<p>”規制緩和政策”の弊害が出ていると思います。この辺の見直しをすべく、区は上にも下にも提案すべきです。</p>
<p>地区社協の取組みを均一化していくことが大切ではないでしょうか。福祉の取組みは区単位ではなかなか手が届かず、地区単位での取組みを重視する方針が必要と感じます。財政的な措置を含めた区の強い対応を希望します。</p>
<p>風通しのよりまちづくりを目指して、地域の事情にあわせた仕組みづくりが発展していくとよいですね。単体の通所施設なので、地域との関係はしっかりしていません。地域にどんな施設があってどんな人たちが通っていて等、みなさんにどんどん知っていただける機会があればよいと思います。</p>
<p>「国民が自らのことは自らの力で解決するという自律の精神と気概を失うとき、その国家社会は滅亡するほかはない。福祉の代償の恐ろしさは正にこの点にある。」ある衆議院の先生が言っていた言葉、最もだと思いました。より一層の福祉や介護の充実。福祉施設の充実。</p>
<p>ボランティア活動の充実。私達の活動は、一緒に音楽を楽しむこと。これだって大切な活動です。</p>
<p>提案ではありませんが、大変助かった有りがたい体験をしましたことを書かせてもらいます。私、個人的ではありませんが、昨年二月、夫が脳梗塞で入院した時に、病院からの連絡で、役所から福祉担当の方が見えて、現状の病人の様子と退院後のことなど話をしてくださり、付き添う妻の私は安心しました。退院後は更に地域のケアマネジャーさんが来て下さり、今後の生活のこと、不安なこと、心配事等を話し合うことができました。大変助かりました。このように、病院→役所→地域への連携ができていないことを知りませんでした。とても有りがたかったです。</p>
<p>①旧中山小学校跡地の最大限利用。PR。学校への情報提供考慮。 ②河川敷空地の利用しやすい環境の整備と投資。(導入路。サイクリング道路等)</p>
<p>福祉に関するトラブルや困りごとが起きたとき、行政が地域の関係団体と共に考え解決すべき。(それぞれの窓口で自分の担当以外の事には一切無関心で、全く横のつながりや共に悩み解決していこうという姿勢がみられない。)</p>
<p>完全なバリアフリーの公会堂が必要です。</p>
<p>理念等は立派ではあるが実際は推進ではなく、福祉の片寄り、逆行を感じます。現実として(机上のものでなく)自分自身の身のまわりのこととして考えてほしい。私共の地域は細やかな心使いを頂いて、要望があれば出来る範囲、希望をかなえていただいている幸せな地域だと皆様に感謝いたしております。</p>
<p>福祉というのはある特定の人達、即ち、障がいを抱えた人、お年寄り、貧困層の人達、シングルマザー等々だけのものではないと思います。すべての人が福祉に関係があり、そういう意味では、もっと全体を見渡した施策を考えて欲しい。住民全てが納得し、喜ぶような街づくりもその一つで、例をあげれば、長津田駅の非人間的な構造(エレベーターなし、エスカレーターの不備)、長津田駅周辺の混雑(道路整備の遅れ、歩道の不備)等々、身近の例を挙げるだけでも数え切れません。</p>
<p>鴨居地域ケアプラザを子供会行事の打合せ場所として数回利用させていただいています。無料で会議室を使わせていただいている、とてもありがたく思っています。</p>
<p>区独自の介護保険サービス、本当に必要な人が安心して利用できるように目配り・気配りを。介護度に矛盾を感じる。三保地区在住者としての提案。活動拠点がなく、地域のまとまりが難しい。住民が気楽に集まって活動できる場所づくりを行政と地域が連携してつけれないものか。</p>
<p>施設も少ない道路整備も良くない、地区センターがない、いろいろ例をあげるときりがありますが、何を優先するか良く考えて税金を使っていたきたいと思います。</p>
<p>これからの高齢者社会の中、いかに資金援助ができるか、もっと地区でやっている事業をPRしてほしいと思います。口コミで誘っていますが、まだまだ知らない人も多いと思います。</p>
<p>緑区内でも福祉活動にも差があると思います。これからの高齢化を考えますと、資金の面、その他、行政が手放さずに見守って欲しいです。</p>

<p>地域の活性化には地域の人材が不可欠ですが、事務局の役割を担う区役所や社協等の担当職員がどれだけ地域情報を持っているかが一つのカギになると思います(というか本当にわかっているのかしら、と思うときが多々あり。)現状は、職員がコロコロ変わり、また、職員の力量UPのための内部教育が充分か疑問に思うところは大きいにあります。</p>
<p>ボランティアで活動しているグループが安心して場所確保できるように願いたいものです。(指導員数名で意見を話し合い、文面にまとめていただいたことを参考にして書きました。どうぞよろしくご検討ください。)</p>
<p>何よりも自治会内の行事を活発にさせること。広場のない自治会は芋煮会でもいいし、餅つき大会、バス旅行、草鞋つくりの会でもいいと思うがどんな小さなことでもやれば次の行事につながるし、2次的効果も期待できる。それはあの団体の役目だといわずに積極的に協働することを奨励すること。</p>
<p>1、福祉関係施設の区民への徹底 2、福祉にかかる問題について、専門の先生による講演会の開催。今以上に多くの機会を。認知症予防対策、成年後見制度、日本精神論など 3、現在、経済・政治が行き詰っているが、これは戦後、自由、人権、民主主義に価値を置くアメリカにただ従ってきたためと思われる。今こそ、真の独立を達成するため、戦後レジュームを再検討すべく、日本精神論を聞きたい、広めたいから。</p>
<p>社会福祉法 107 条があるのでやっています。関係者はよくやっています。これからもこうします、と独力(努力)は大変なものです。評価のタイミングは3ヶ月ごとが理想と考えます。スピードが要求されます。</p>
<p>緑区は、保健師さんの協力があまりないので、保健師さんに勉強をしていただいて、いろいろな情報がもらえるように育ててほしいです。</p>
<p>障がい者の高齢化が進んでいるので行政や地域での見守りを強化してほしい。</p>
<p>申し出を待つのではなく、できるだけ多くの地域や現場へ出て実態を把握して施策を立てたり実行したりしてほしい。区独自の予算を立てられるよう権限を広げる運動を進める。 他の区や自治体のより施策を積極的に取り入れてほしい。青葉区では、介護保険事業を行う各種の事業者の連絡会、及びその連絡会同士のつながりが活発で、その行政が有機的に係わっていて情報がスムーズに流れているようです。緑区でもこのような連携が作れるとよいと思います。</p>
<p>障がい者が何を望んでいるかということ、積極的に情報収集して取り組んでほしい。</p>
<p>玄海田公園、四季の森公園をもっと有効利用できるように子供やお年寄り向けのイベントなどを多く企画してほしいです。</p>
<p>子育てしにくい地域だと思うので、(福祉だけでなく、道路事情等危険な場所が多い、施設が少ない地域でもある。)もう少し子供が活動しやすい場を作ってほしい。</p>
<p>新設園の運営で精一杯の状況の中でできる子育て支援事業をしています。実施する中で、できるプランを模索していますので、大きな取り組みはまだできませんが、地道にできる子育て支援を積み重ねていこうと思います。子育て支援事業は保育園の運営上の大切な柱のひとつと考えています。</p>
<p>地域の子供とリタイアした人たちが日常的に共にすごして遊んだり、学んだり、趣味の活動をしたりできるような場があったらいいなと思います。</p>
<p>福祉関係のボランティアが少ない。また、高齢化してきている。有償・無償を含めた人材の拡大が急務です。</p>
<p>情報:個人情報保護やプライバシー保護も関係して情報が必要な人に必要な情報が届いているか不安である。介護予防の取り組みは積極的に進んでいるが、食育などの取り組みはどうかと思います。 機会・場:活動ができる広い会場が欲しい。</p>
<p>緑区更生保護女性会が皆様に知られていないことに困っています。お手伝いすることがありましたら、できることがあればお手伝いしたいと思います。</p>

「みどりのわ・ささえ愛フラン」福祉保健活動団体アンケート調査票

団体の活動についてお伺いします。

問1 団体（グループ）名をご記入ください。

--

問2 団体活動のテーマを教えてください。【あてはまる番号すべてに○】

1 高齢	2 障がい	3 子育て	4 団塊世代
5 地域活動	6 教育	7 趣味	8 健康づくり
9 その他（	）		

問3 団体が主に活動している地域の範囲は？【あてはまる番号すべてに○】

1 緑区全域	2 東本郷地区	3 鴨居地区
4 竹山地区	5 白山地区	6 新治中部地区
7 三保地区	8 山下地区	9 十日市場団地地区
10 新治西部地区	11 霧が丘地区	12 長津田地区
13 青葉区	14 都筑区	15 港北区
16 旭区	17 保土ヶ谷区	
18 その他の市内（	）	
19 その他（	）	

問4 活動の回数は？【あてはまる番号一つだけ○】

1 週1回程度	2 月に1～2回程度	3 年に数回
4 その他（	）	

問5 団体の会員数は？【あてはまる番号一つだけ○】

1 10人未満	2 10人以上20人未満	3 20人以上30人未満
4 30人以上40人未満	5 40人以上50人未満	6 50人以上

問6 問5のうち、団体の運営に携わっている人数は？【あてはまる番号一つだけ○】

1 5人未満	2 5人以上10人未満	3 10人以上20人未満
4 20人以上		

問7 会員数を増やすために行っていることはありますか？【あてはまる番号すべてに○】

1 口コミ	2 チラシ配布・回覧	3 広報誌の発行
4 ポスター掲示	5 インターネット（ホームページやブログ）	
6 イベント等での勧誘	7 その他（	

問 8 主な活動の場所はどこですか？【あてはまる番号すべてに○】

- | | | |
|--------------|------------|----------|
| 1 地域ケアプラザ | 2 福祉保健活動拠点 | 3 地区センター |
| 4 自治会館・町内会館 | 5 公園 | |
| 6 その他の施設 () | | |
| 7 その他 () | | |

問 9 活動の内容はどのようなものですか？【あてはまる番号すべてに○】

- | | | |
|---------------|----------------------|--------------|
| 1 メンバーの学習 | 2 メンバーの交流 | 3 講演会・シンポジウム |
| 4 情報誌等の紙媒体の発行 | 5 高齢者・障がい者等への支援事業 | |
| 6 調査・研究活動 | 7 ホームページやメーリングリストの提供 | |
| 8 その他 () | | |

問 10 会員との連絡・コミュニケーションの方法は？【あてはまる番号すべてに○】

- | | | | |
|------|---------|-----------|---------|
| 1 電話 | 2 ファックス | 3 パソコンメール | 4 携帯メール |
| 5 会合 | 6 郵便 | 7 その他 () | |

問 11 団体の活動に参加してよかったと思うことは何ですか？【あてはまる番号すべてに○】

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 人と知り合うことができた | 2 自分の生活が豊かになった |
| 3 福祉に関する知識が増えた | 4 体力がついた |
| 5 地域社会とかかわりを持つことができた | 6 日常生活にメリハリがついた |
| 7 やりがいを感じる事ができた | 8 居場所をつくる事ができた |
| 9 その他 () | |

問 12 団体の広報手段は？【あてはまる番号すべてに○】

- | | | |
|-----------|------------------------|----------|
| 1 口コミ | 2 チラシ配布・回覧 | 3 広報誌の発行 |
| 4 ポスター掲示 | 5 インターネット (ホームページやブログ) | |
| 6 その他 () | | |

問 13 活動における財源は？【あてはまる番号すべてに○】

- | | | | |
|-------------|----------------|-------------|--------------|
| 1 会費 | 2 寄付金 | 3 事業収入 | 4 自治会からの助成金等 |
| 5 行政からの補助金等 | 6 社会福祉協議会の補助金等 | 7 企業からの助成金等 | |
| 8 その他 () | | | |

問 14 団体の経営状況は？【あてはまる番号一つだけ○】

- | | | | | |
|------|--------|-------|---------|-------|
| 1 良好 | 2 まあ良好 | 3 ふつう | 4 やや厳しい | 5 厳しい |
|------|--------|-------|---------|-------|

問 15 活動において、他の団体・施設との連携や交流はありますか？【あてはまる番号一つだけ○】

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問 16 活動を行う上で、知りたいと思う情報にはどのようなものがありますか？
【あてはまる番号すべてに○】

- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 1 イベント情報 | 2 福祉保健団体の情報 | 3 地域に関すること |
| 4 行政サービス | 5 地域ケアプラザの情報 | 6 自治会活動の情報 |
| 7 団体運営に関すること | 8 講演会や勉強会の情報 | 9 団体間の交流に関すること |
| 10 その他 () | | |

問 17 活動における課題や困っていることは何ですか？【あてはまる番号すべてに○】

- | | | |
|----------------------|-------------|---------------|
| 1 人材 | 2 資金 | 3 行政の支援 |
| 4 備品 | 5 場所の確保 | 6 他の団体との連携・交流 |
| 7 時間 | 8 参加者の意識・意欲 | |
| 9 その他 (ご自由にお書きください。) | | |

問 18 今後、団体の活動が向かう「あるべき姿 (イメージ)」はどのようなものですか？
ご自由にお書きください。

緑区政についてお伺いします。

問 19 区政情報を知る手段は何ですか？【あてはまる番号すべてに○】

- | | | | |
|-----------|------------|--------------------|-------|
| 1 広報よこはま | 2 緑区ホームページ | 3 口コミ | 4 掲示板 |
| 5 回覧板 | 6 新聞 | 7 ミニコミ紙 (タウンニュース等) | |
| 8 その他 () | | | |

問 20 緑区地域福祉保健計画・地域福祉活動計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」をご存知ですか？
【あてはまる番号一つだけ○】

- | | | | |
|-----------|---------|---------------|--------|
| 1 よく知っている | 2 知っている | 3 名前は聞いたことがある | 4 知らない |
|-----------|---------|---------------|--------|

問 21 平成 21 年度から、緑区では「みどりのわ・ささえ愛プラン」の見直しにはいります。「みどりのわ・ささえ愛プラン」に対するご意見をご自由にお書きください。

問 22 福祉について、今後、緑区が優先して行うべき施策は何だと思えますか？
具体的にお書きください。

問 23 その他、緑区における福祉の取り組みについてのご意見や、今後、行政や地域が取り組むべき新しい施策等のご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。